



# 松井証券株式会社

(東京証券取引所第1部:8628)

2005年3月期(平成17年3月期)  
第3四半期決算報告資料

2005年02月04日

 松井証券

# 目次

はじめに	2005年3月期第3四半期決算のポイント	
セクション1	決算(連結)の概要	4
セクション2	リテール証券業界の状況	15
セクション3	今後の展開	24
セクション4	各種実績	31

本資料は、2005年3月期第3四半期決算の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、本資料は2005年02月04日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により、変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

# 2005年3月期第3四半期決算のポイント

## 1. 営業収益・経常利益ともに3四半期(4~12月)ベースで過去最高を記録

- ◆ 営業収益は269億円(前年同期比“1.6倍”)、経常利益は164億円(前年同期比“1.8倍”)
  - ・ 経常利益164億円は、上場証券会社23社中大手3社に次ぐ“4位”となる
  - ・ 第3四半期(4~12月)の時点で前期1年分(営業収益250億円、経常利益140億円)を上回る

## 2. 売買実績

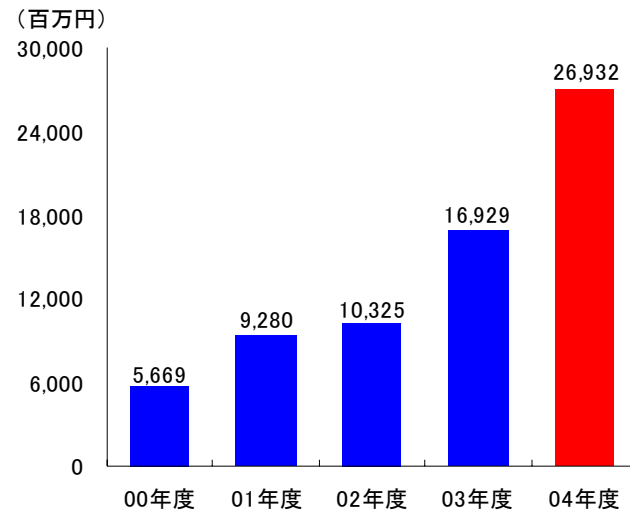
- ◆ 第3四半期(4~12月)の松井証券の株式売買代金は15兆円(前年同期比“1.6倍”)
- ◆ 第3四半期(10~12月)は新規口座数・預かり資産額が大幅に増加
  - ・ タンス株券の特定口座受入期限であった04年12月に口座数・株券在庫額が大幅に増加
  - ・ 04年12月は月間口座増加数1.3万口座、月間株券在庫総額328億円でともに過去最高

## 3. 今後の展開

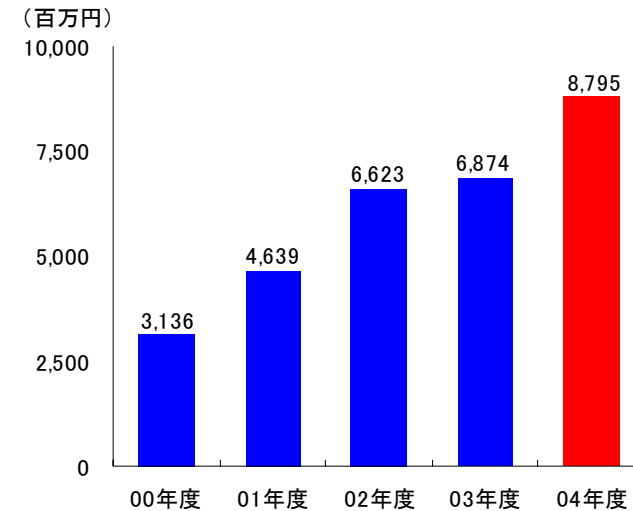
- ◆ 他社とのアライアンスの強化
  - ・ 銀行での口座開設受付に関する業務提携スキームの強化  
(地銀・信金など提携先の拡大、証券仲介業の利用など提携内容の拡大に取り組む)
  - ・ 中央三井信託銀行とストックオプション口座開設に関して業務提携(04年12月)
  - ・ ユナイテッドワールド証券と中国株取扱に関して業務提携(04年12月)
- ◆ 発行市場におけるイノベーション ~引受販売手数料“無料化”への取組み~
  - ・ 競争がなく、一部の証券会社の寡占状態にある発行市場に新たな競争の仕組みを導入  
⇒ 流通市場に続き、発行市場でもイノベーション(“革命”)を起こしていく
  - ・ 引受販売手数料の無料化等により、当社の引受シェアを高め、当社顧客の当選確率を高める方針  
⇒ IPO銘柄等の購入を希望する個人投資家の獲得につなげる

# 2005年3月期第3四半期決算ハイライト

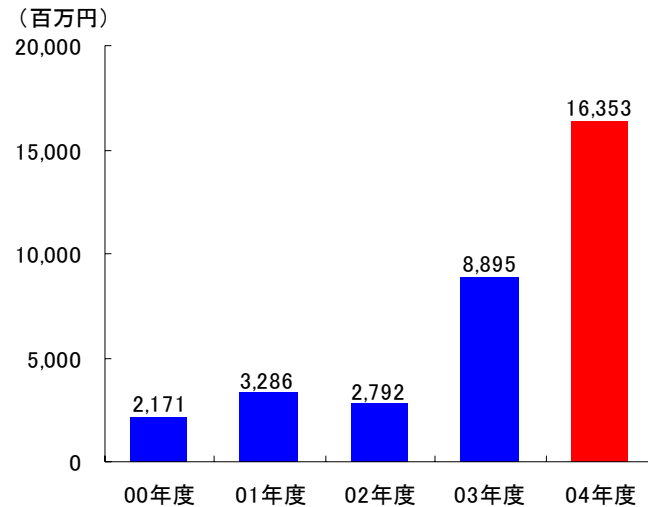
## ◆ 営業収益の推移(第3四半期[4~12月])



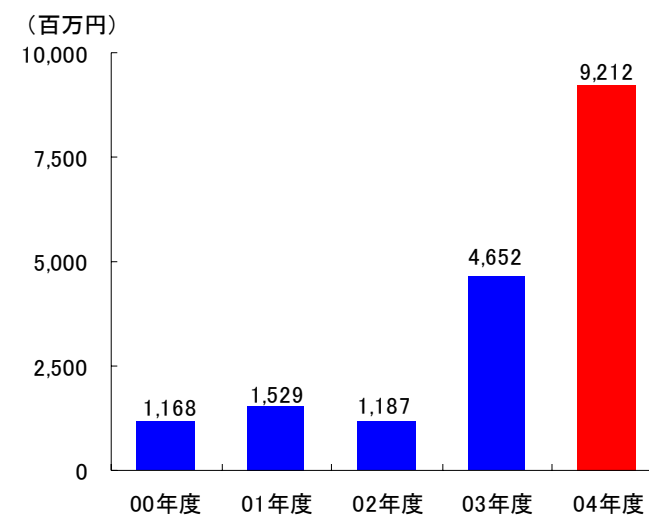
## ◆ 販管費の推移(第3四半期[4~12月])



## ◆ 経常利益の推移(第3四半期[4~12月])



## ◆ 当期純利益の推移(第3四半期[4~12月])



# 決算(連結)の概要

---

セクション 1

# 2005年3月期第3四半期の業績

営業収益は269億円で59%増加（前年同期比）

～営業利益は164億円（79%増）、経常利益は164億円（84%増）、当期純利益は92億円（98%増）～

（単位：百万円）

	2004年3月期 3Q(4～12月)	2005年3月期 3Q(4～12月)	前年同期比 (増減率)
営業収益	16,929	26,932	59%
受入手数料	13,754	19,636	43%
金融収益	3,174	7,290	130%
金融費用	905	1,763	95%
純営業収益	16,025	25,168	57%
販管費	6,874	8,795	28%
営業利益	9,151	16,374	79%
経常利益	8,895	16,353	84%
当期純利益	4,652	9,212	98%

# 純営業収益の内訳

受入手数料は196億円で43%増加（前年同期比）

～信用取引貸付金の増加により、金融収支は55億円で前年同期比144%増～

（単位：百万円）

	2004年3月期 3Q(4～12月)	2005年3月期 3Q(4～12月)	前年同期比 (増減率)
受入手数料	13,754	19,636	43%
委託手数料	12,913	18,388	42%
引受・売出手数料	105	243	131%
募集・売上の取扱手数料	29	28	-1%
その他	707	978	38%
トレーディング損益	1	5	520%
金融収益(①)	3,174	7,290	130%
営業収益合計	16,929	26,932	59%
金融費用(②)	905	1,763	95%
純営業収益	16,025	25,168	57%
金融収支(①-②)	2,270	5,527	144%

# 販管費の内訳

販管費は88億円で28%増加（前年同期比）

～売買代金の増加に伴い取引関係費、事務費が増加～

（単位：百万円）

	2004年3月期 3Q(4～12月)	2005年3月期 3Q(4～12月)	前年同期比 (増減率)
取引関係費	1,588	2,450	54%
広告宣伝費	226	323	43%
人件費	1,416	1,410	-0%
不動産関係費	247	203	-18%
事務費	2,884	3,924	36%
減価償却費	505	548	9%
租税公課	53	143	173%
貸倒引当金繰入	95	-	-
その他	86	117	35%
販管費合計	6,874	8,795	28%



# 直近4四半期の業績推移

## 営業収益は80億円で6%減少（直前四半期比）

～営業利益は44億円（17%減）、経常利益は44億円（17%減）、当期純利益は25億円（16%減）～

（単位：百万円）

	2004年3月期 4Q(1～3月)	2005年3月期 1Q(4～6月)	2005年3月期 2Q(7～9月)	2005年3月期 3Q(10～12月)	直前四半期比 (増減率)
営業収益	8,107	10,407	8,536	7,989	-6%
受入手数料	6,452	7,990	6,116	5,531	-10%
金融収益	1,626	2,403	2,421	2,466	2%
金融費用	393	603	534	626	17%
純営業収益	7,713	9,804	8,001	7,363	-8%
販管費	2,580	3,162	2,683	2,950	10%
営業利益	5,134	6,642	5,319	4,412	-17%
経常利益	5,121	6,588	5,330	4,435	-17%
当期純利益	2,628	3,775	2,959	2,478	-16%

# 純営業収益の内訳

受入手数料は55億円で10%減少（直前四半期比）

～信用取引貸付金の減少により、金融収支は3%減少～

（単位：百万円）

	2004年3月期 4Q(1～3月)	2005年3月期 1Q(4～6月)	2005年3月期 2Q(7～9月)	2005年3月期 3Q(10～12月)	直前四半期比 (増減率)
受入手数料	6,452	7,990	6,116	5,531	-10%
委託手数料	6,020	7,592	5,669	5,127	-10%
引受・売出手数料	85	100	53	90	72%
募集・売出取扱手数料	7	8	14	6	-59%
その他	340	290	380	307	-19%
トレーディング損益	29	13	△ 2	△ 7	-
金融収益(①)	1,626	2,403	2,421	2,466	2%
営業収益合計	8,107	10,407	8,536	7,989	-6%
金融費用(②)	393	603	534	626	17%
純営業収益	7,713	9,804	8,001	7,363	-8%
金融収支(①-②)	1,232	1,801	1,887	1,839	-3%

# 販管費の内訳

## 販管費は30億円で10%増加（直前四半期比）

～人件費と事務費の増加により、販管費は増加～

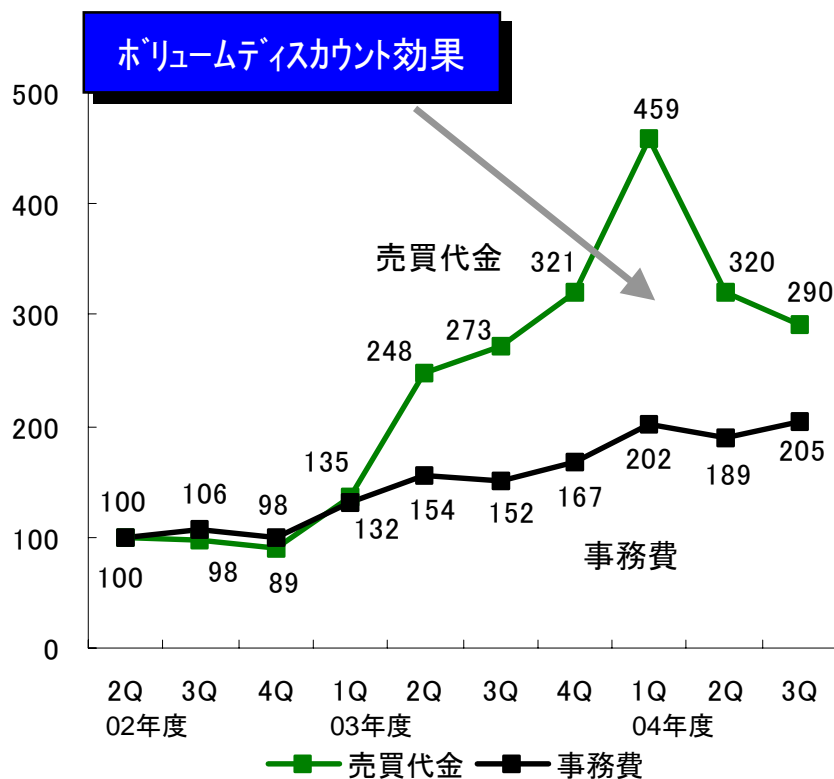
（単位：百万円）

	2004年3月期 4Q(1～3月)	2005年3月期 1Q(4～6月)	2005年3月期 2Q(7～9月)	2005年3月期 3Q(10～12月)	直前四半期比 (増減率)
取引関係費	672	926	753	770	2%
広告宣伝費	78	96	100	127	28%
人件費	447	522	399	489	22%
不動産関係費	123	67	67	69	3%
事務費	1,102	1,329	1,248	1,348	8%
減価償却費	185	175	182	191	5%
租税公課	14	56	47	40	-13%
貸倒引当金繰入	△ 1	48	△ 48	-	-
その他	38	38	35	44	25%
販管費合計	2,580	3,162	2,683	2,950	10%

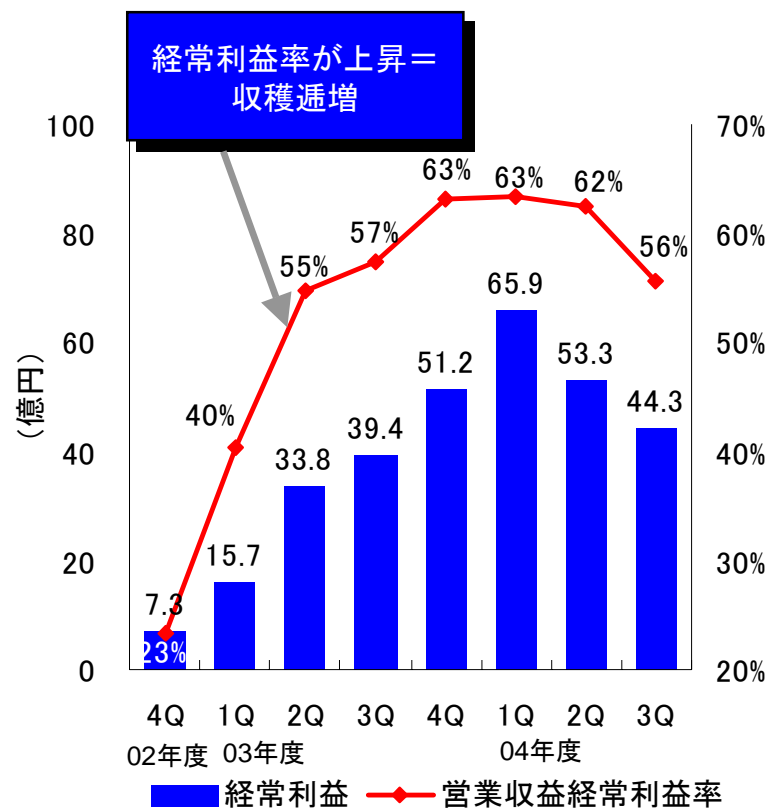
# 【参考】松井証券の収穫逡増モデル

“売買が増えれば増えるほど利益率が高まる”松井証券のビジネスモデル

◆ 松井証券の株式売買代金と事務費の推移  
(02年度2Qを100とした場合の指数推移)



◆ 「営業収益経常利益率(経常利益/営業収益)」と経常利益の推移

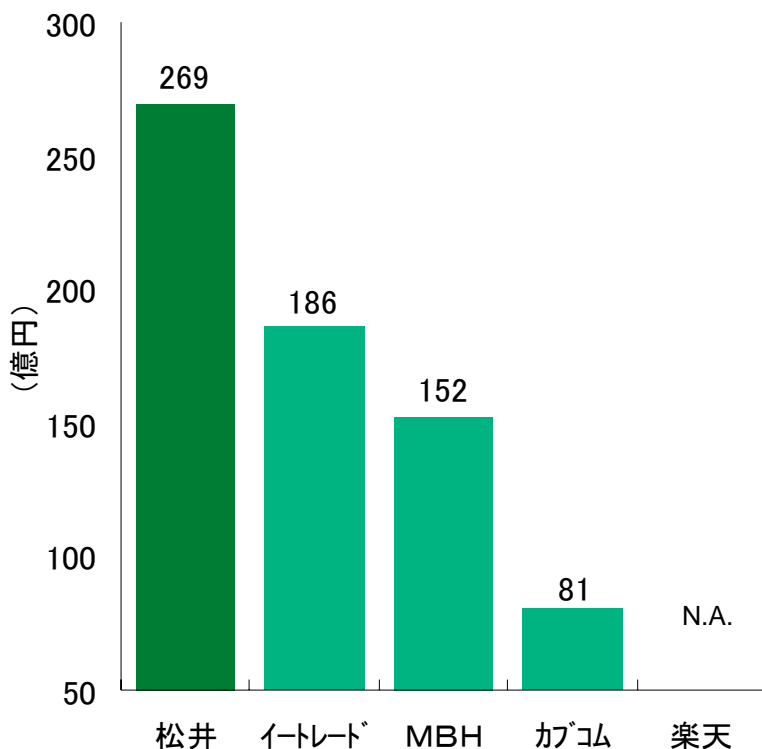


# 【参考】2005年3月期第3四半期決算の比較

松井証券の営業収益・経常利益はともにオンライン証券トップ（04年度1Q~3Q）

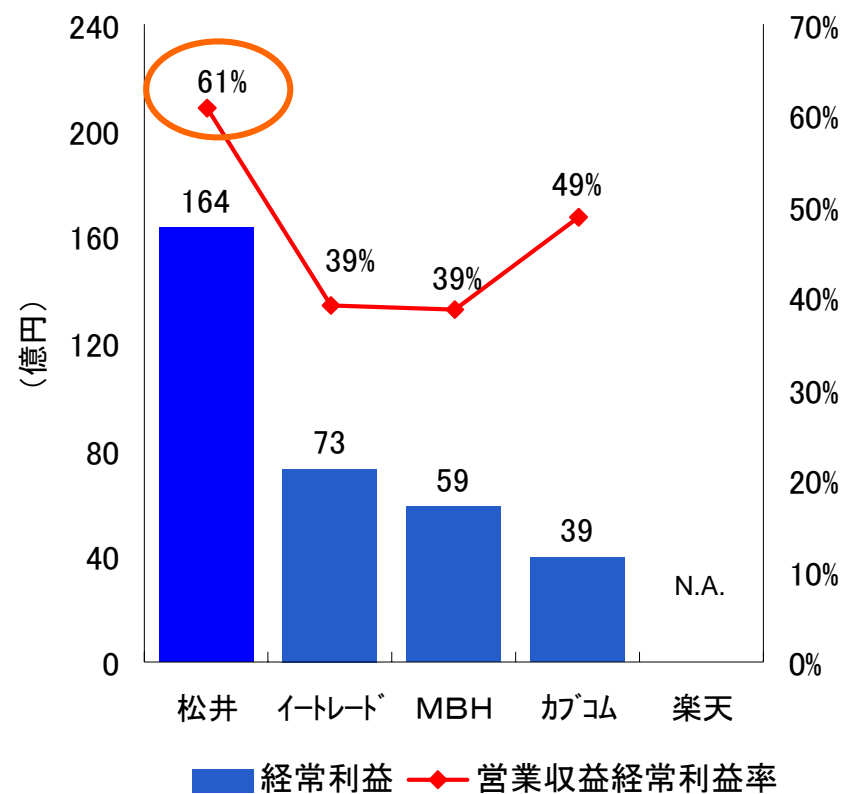
～営業収益経常利益率は61%（営業収益の6割以上が利益となる）～

◆ 営業収益の比較（04年度1Q~3Q）



◆ 経常利益の比較（04年度1Q~3Q）

◆ 営業収益経常利益率の比較（04年度1Q~3Q）



# 貸借対照表(2004年12月末時点)

2004年12月末時点の純資産は462億円

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	556,195	流動負債	425,687
現金・預金	36,652	トレーディング商品	2
預託金	216,003	信用取引負債	70,000
金銭信託	9,200	信用取引借入金	31,436
トレーディング商品	3	信用取引貸証券受入金	38,563
信用取引資産	285,421	有価証券担保借入金	37,774
信用取引貸付金	279,325	預り金	108,582
信用取引借証券担保金	6,096	受入保証金	127,352
有価証券担保貸付金	944	短期借入金	73,379
立替金	20	コマーシャル・ペーパー	3,000
短期差入保証金	3,725	一年内償還社債	500
その他	4,388	未払法人税等	3,376
貸倒引当金	△ 160	賞与引当金	138
固定資産	5,628	その他	1,584
有形固定資産	1,177	固定負債	88,249
無形固定資産	1,919	社債	40,000
ソフトウェア	1,865	新株予約権付社債	40,000
その他	54	長期借入金	8,008
投資その他の資産	2,532	その他	241
投資有価証券	1,354	特別法上の準備金	1,698
その他	1,209	証券取引責任準備金	1,698
貸倒引当金	△ 31	負債合計	515,634
		資本の部	
		資本金	11,464
		資本剰余金	9,313
		利益剰余金	25,304
		その他有価証券評価差額金	128
		自己株式	△ 20
		資本合計	46,189
資産合計	561,823	負債・資本合計	561,823

# 自己資本規制比率(2004年12月末時点)

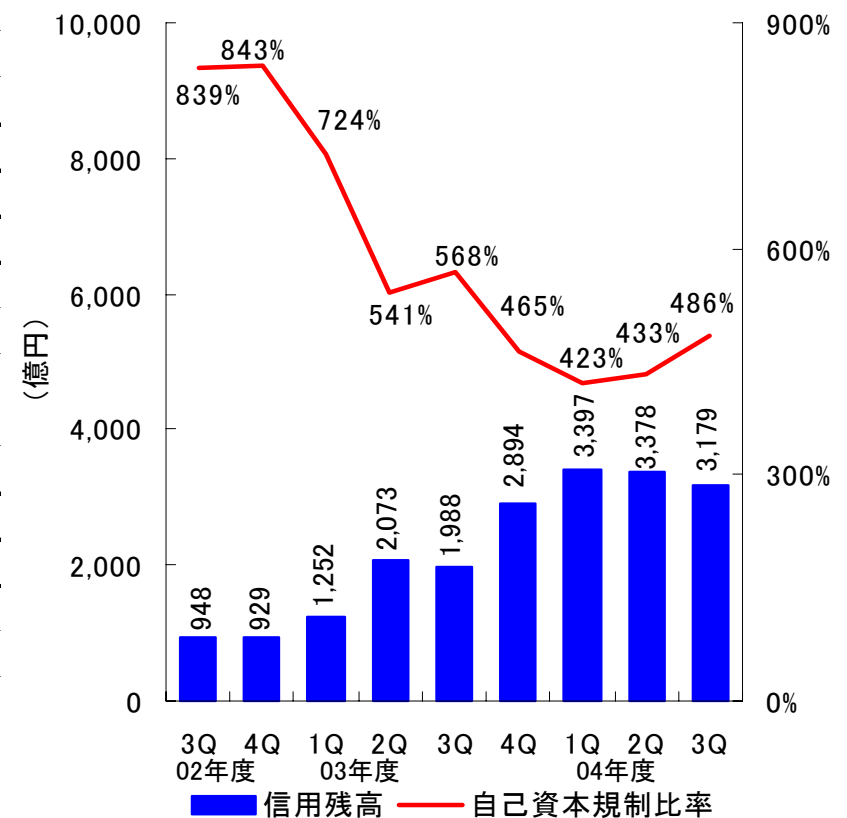
## 2004年12月末時点の自己資本規制比率は486.1%

～信用残高の減少により、自己資本規制比率は上昇～

### ◆ 自己資本規制比率(04年12月末)

		(百万円)
基本的項目	資本合計 (A)	46,005
補完的項目	評価差額金(評価益)等	127
	証券取引責任準備金等	1,698
	一般貸倒引当金	160
	短期劣後債務	500
	計 (B)	2,486
控除資産 (C)	4,824	
固定化されていない自己資本の額 (A) + (B) - (C) (D)		43,667
リスク相当額	市場リスク相当額	137
	取引先リスク相当額	6,075
	基礎的リスク相当額	2,770
	計 (E)	8,982
自己資本規制比率 (D)/(E)	486.1%	

### ◆ 信用残高と自己資本規制比率<sup>1</sup>の推移



# リテール証券業界の状況

---

## セクション 2



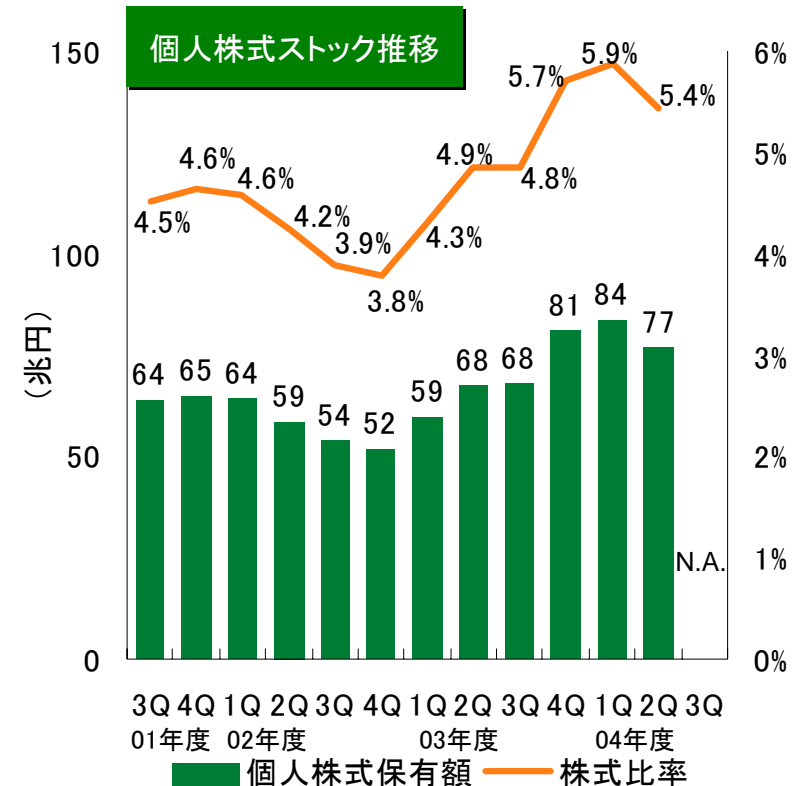
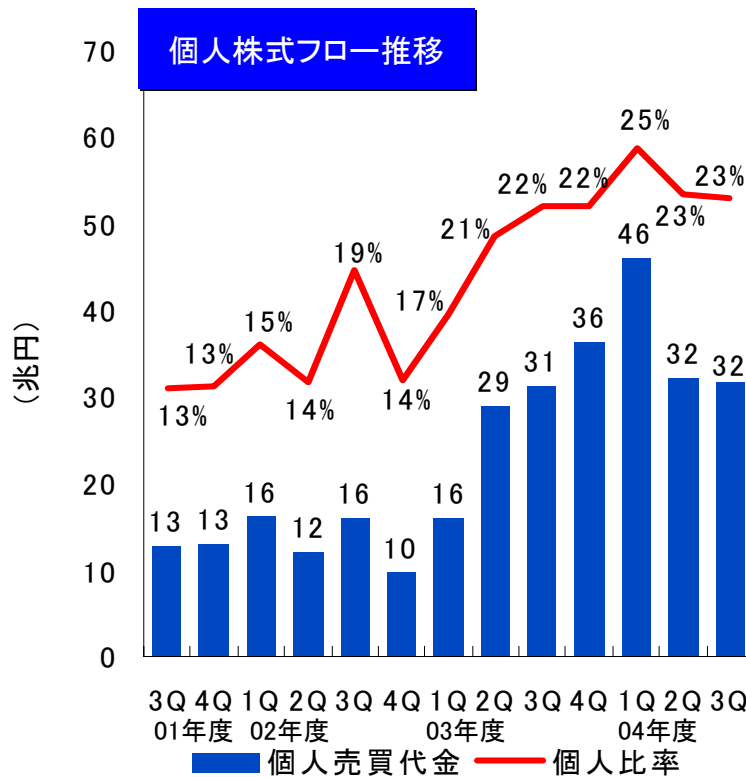
# リテール株式取引市場の状況

## 個人株式委託売買代金は32兆円で直前四半期とほぼ同水準（04年度3Q）

～個人株式保有額は77兆円に減少（個人金融資産の5.4%）～

- ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>（フロー）
- ◆ 総売買代金に占める個人取引比率

- ◆ 個人株式保有額（ストック）
- ◆ 個人金融資産に占める株式比率



# 松井証券の実績 I (対マーケットとの比較)

## 個人株式委託売買代金に占める松井証券シェアは14% (04年度3Q)

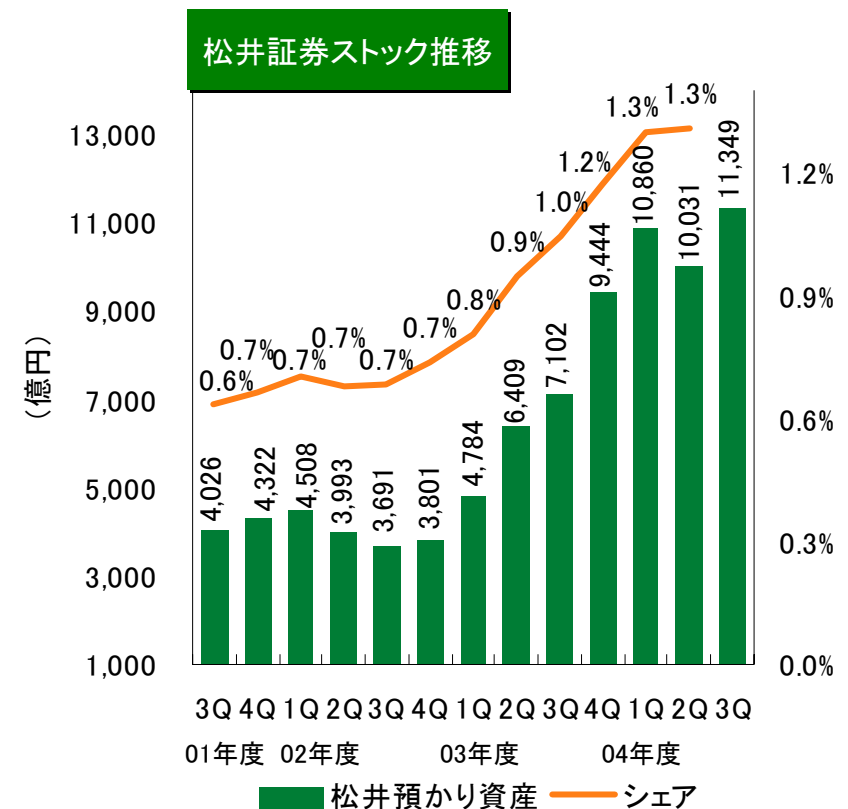
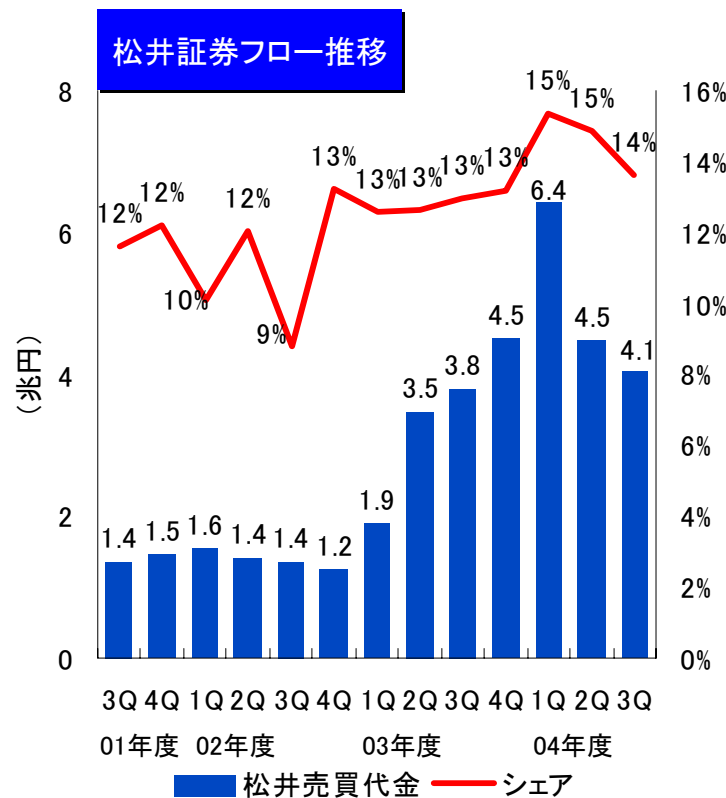
～松井証券預かり資産額は11,349億円(04年12月末)、日本の個人株式保有額の約1.3%相当で推移～

◆ 松井証券株式委託売買代金 (フロー)

◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>に占める松井証券シェア

◆ 松井証券預かり資産額 (ストック)

◆ 個人株式保有額に占める松井証券シェア

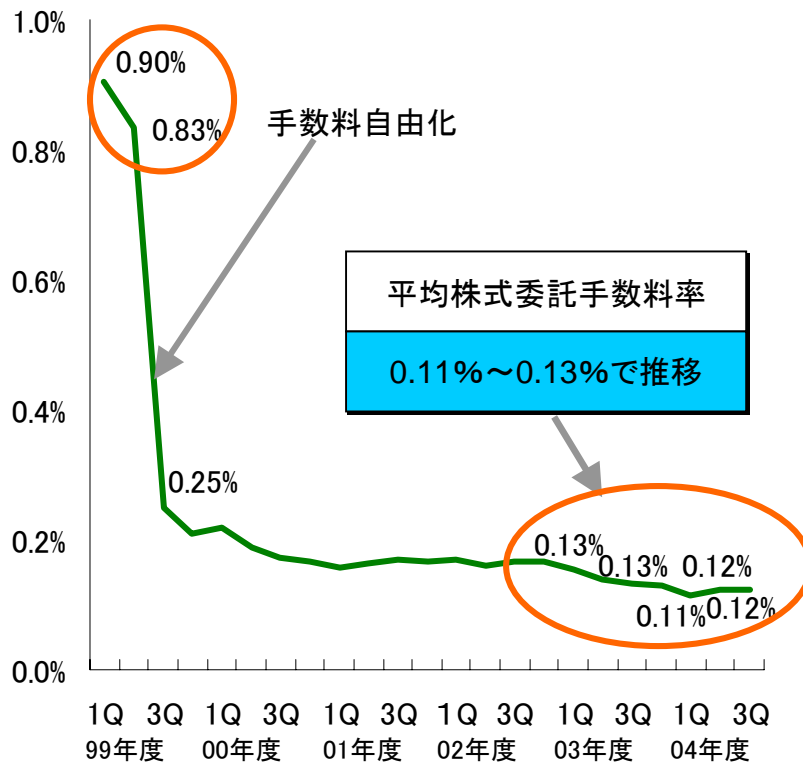


# 松井証券の実績Ⅱ（手数料率と売買回転率）

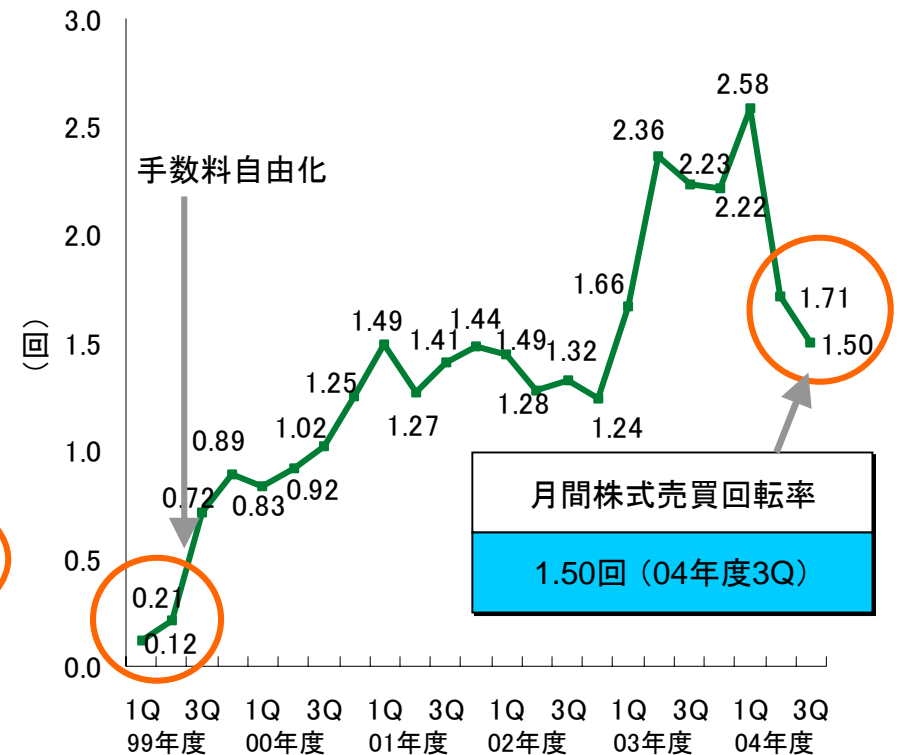
## 松井証券の平均株式委託手数料率は0.12%（04年度3Q）

～松井証券顧客の月間株式売買回転率は1.50回（04年度3Q）～

### ◆ 松井証券の平均株式委託手数料率<sup>1</sup>の推移



### ◆ 松井証券顧客の月間株式売買回転率<sup>2</sup>の推移



注1：平均株式委託手数料率＝株式委託手数料／株式委託売買代金

注2：売買回転率＝月間の平均売買代金／該当期間の平均預かり資産（\*1）

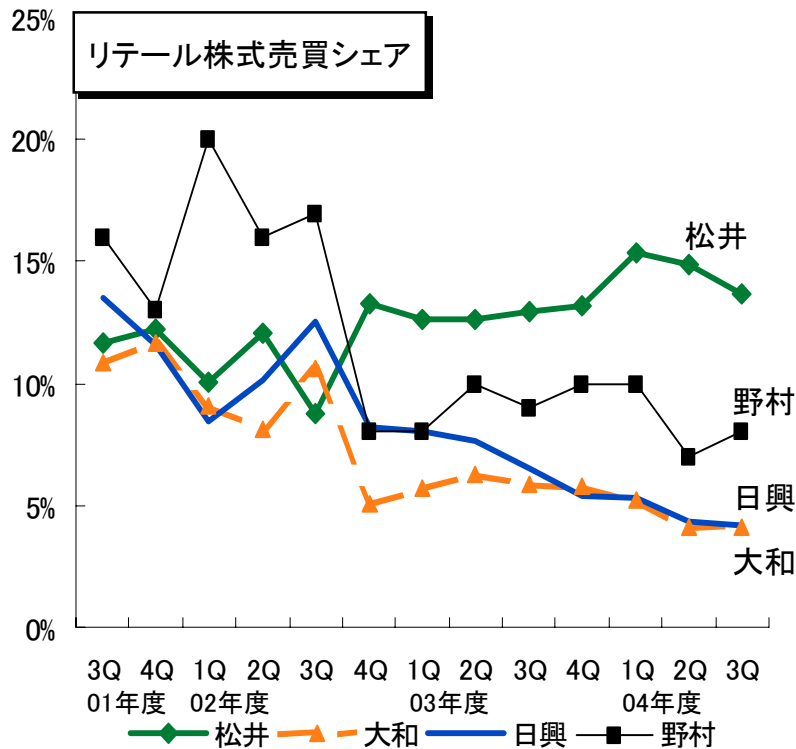
（\*1）01年度2Qの預かり資産から、当社役員およびその関係者の預かり資産額を控除

# リテール株式売買代金シェア I (対オフライン証券)

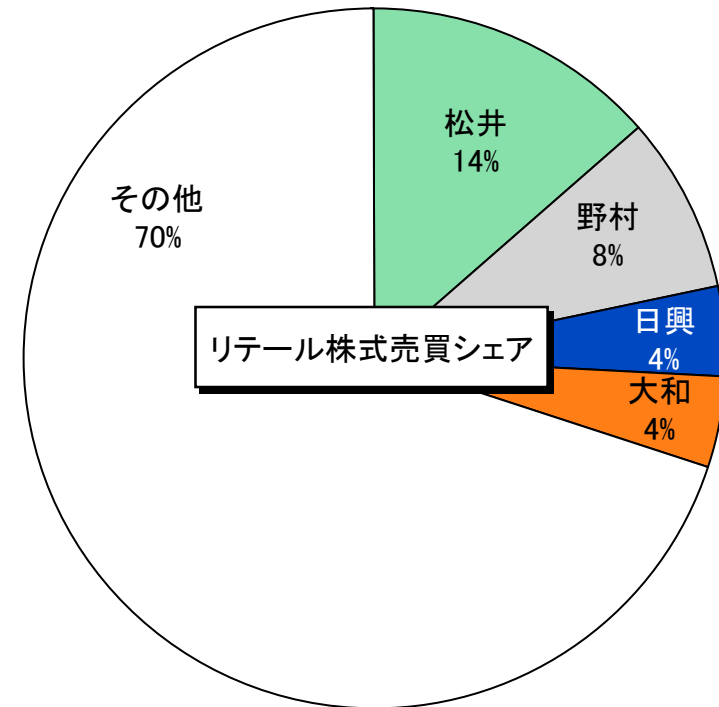
## 松井証券のリテール株式売買代金シェアは大手3社を上回る (04年度3Q)

～大手3社合計シェア(16%)と松井証券のシェア(14%)がほぼ同じとなる～

### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェアの推移



### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア (04年度3Q)

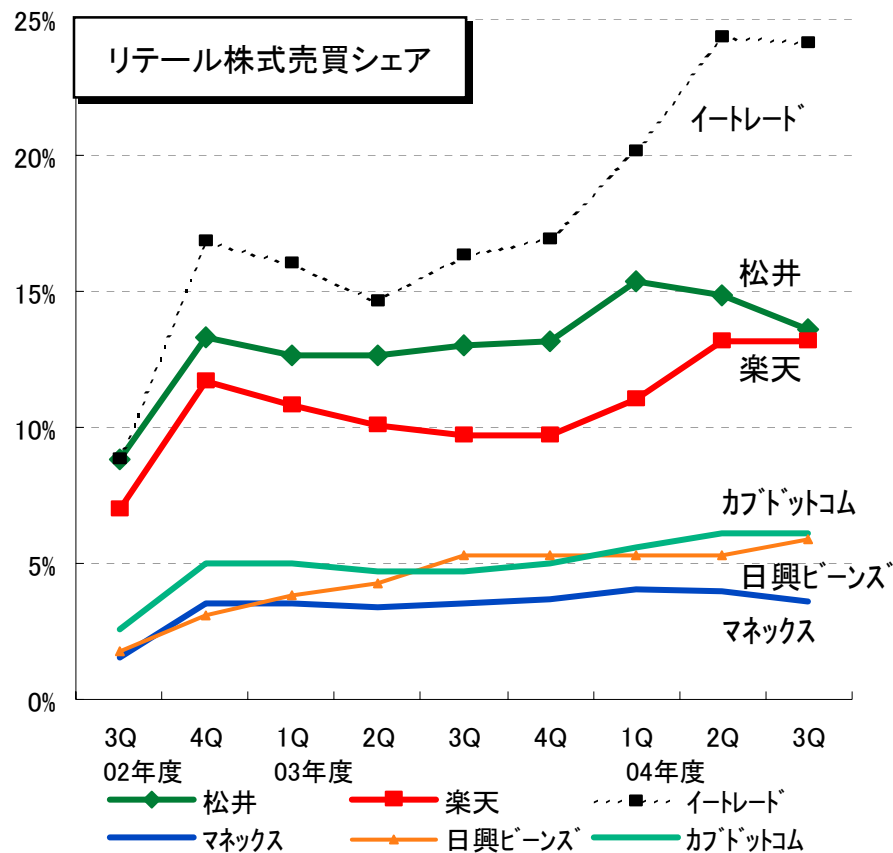


# リテール株式売買代金シェアⅡ（対オンライン証券との比較）

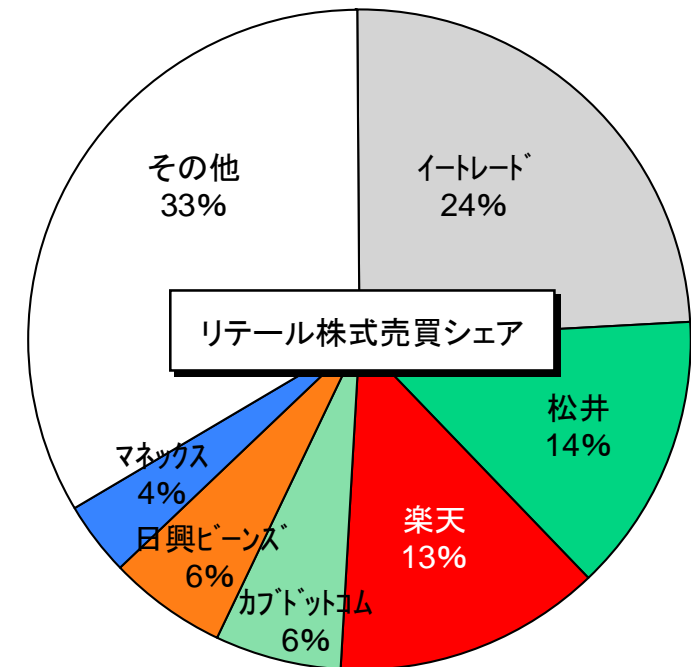
## オンライン証券各社の売買代金シェアは高水準で推移

～オンライン証券主要6社で個人株式委託売買代金の67%のシェアを占める（04年度3Q）～

### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェアの推移



### ◆ 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア（04年度3Q）



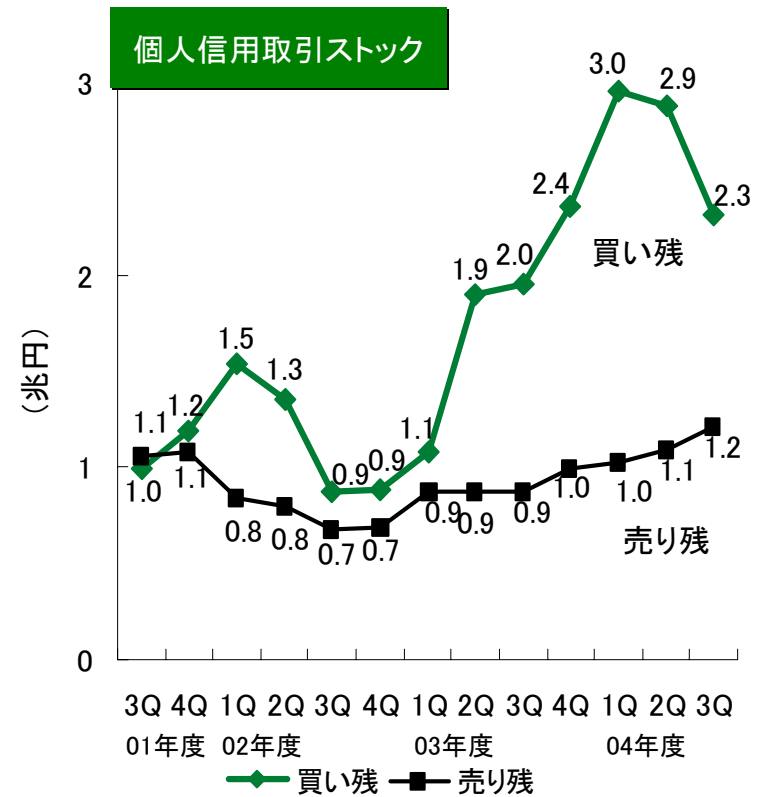
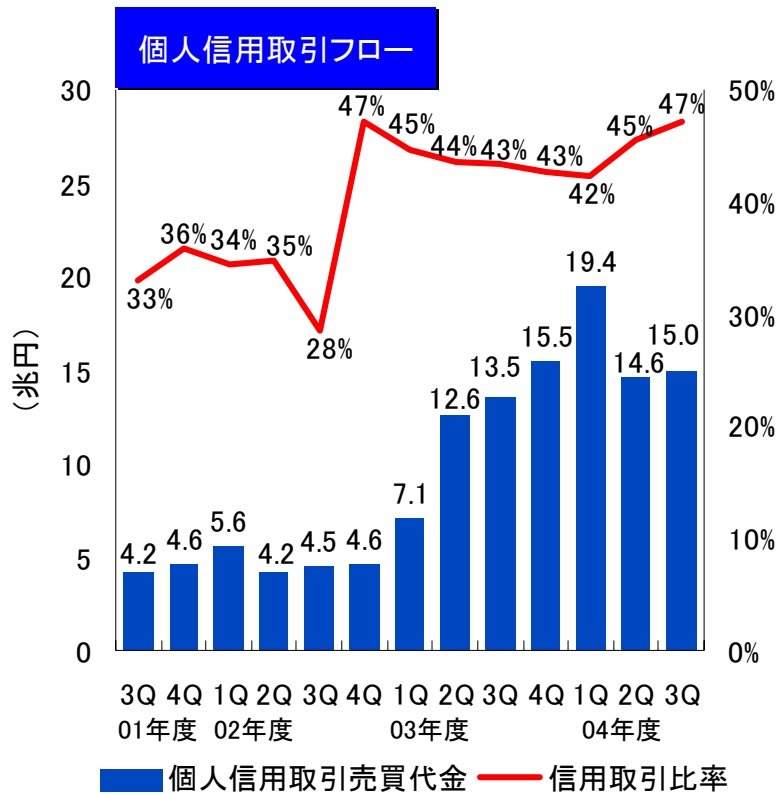
# リテール信用取引市場の状況

## 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率は47% (04年度3Q)

～信用取引残高は、買い残(2.3兆円)、売り残(1.2兆円)～

- ◆ 個人信用取引売買代金<sup>1</sup>
- ◆ 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率

- ◆ 信用取引残高<sup>2</sup> (買い残・売り残)



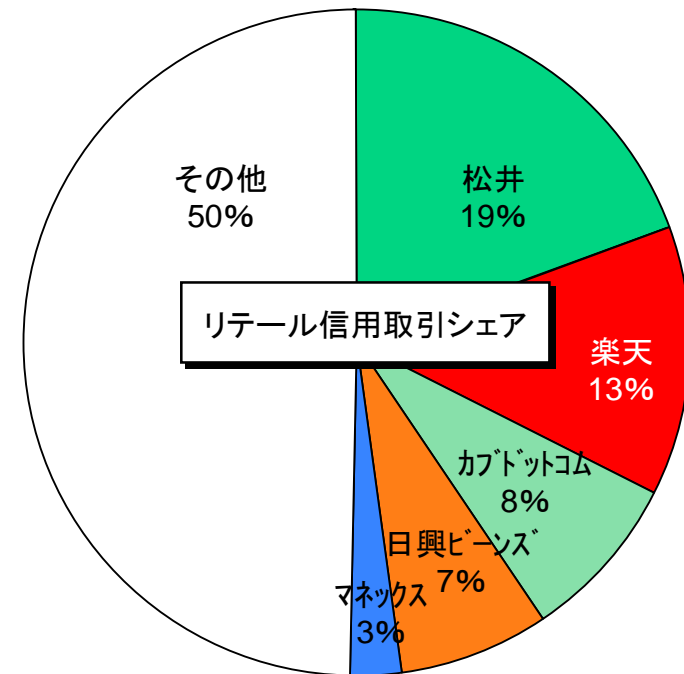
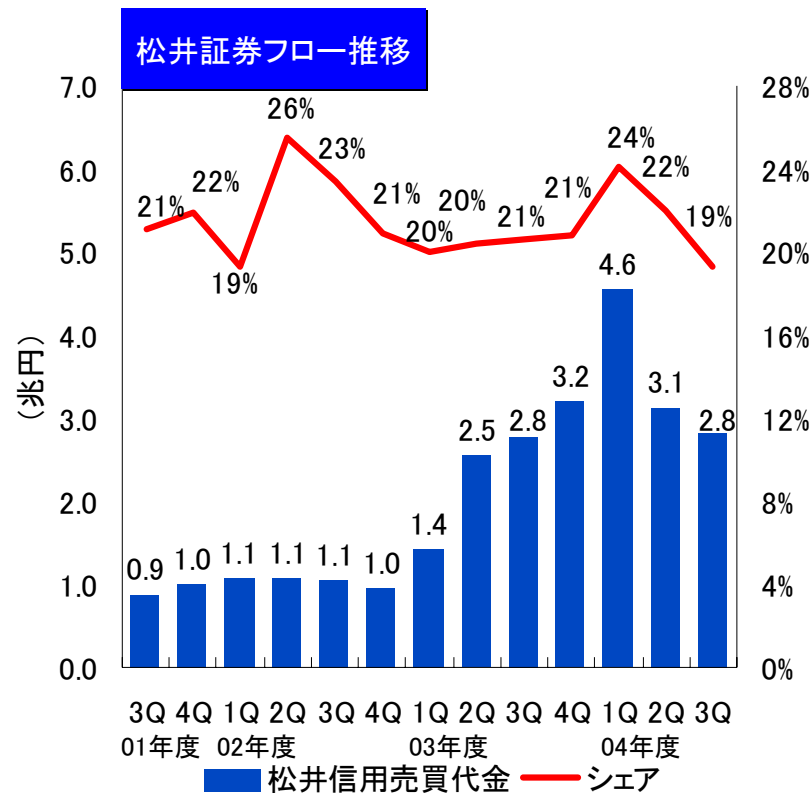
# 松井証券の実績 I (信用取引売買代金の推移)

## 個人信用取引売買代金に占める松井証券シェアは19% (04年度3Q)

～松井証券株式委託売買代金に占める信用取引比率は70% (04年度3Q)～

- ◆ 松井証券信用取引売買代金
- ◆ 個人信用取引<sup>1)</sup>に占める松井証券シェア

- ◆ 株式委託売買代金に占める信用取引比率



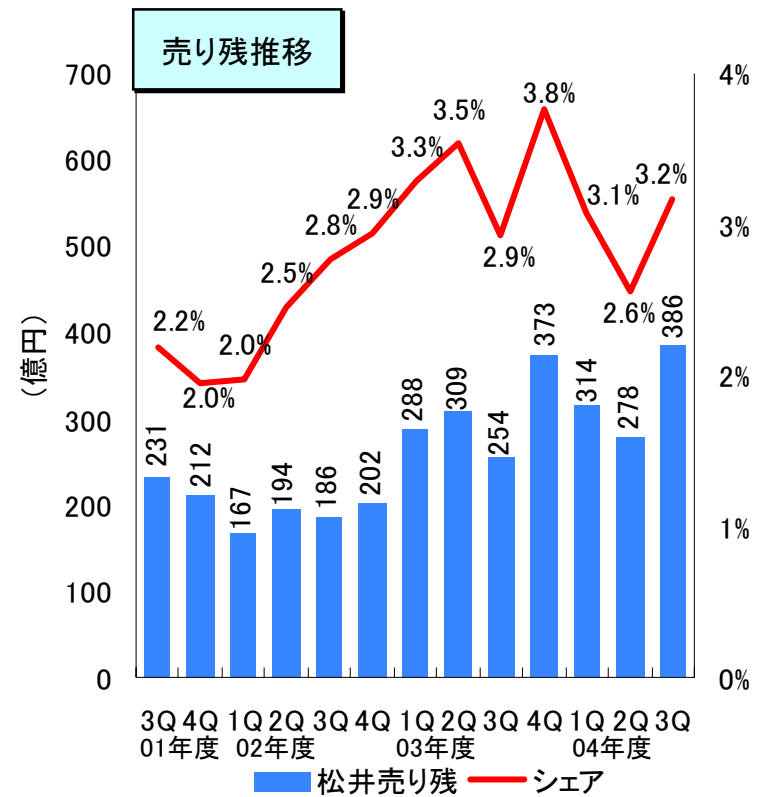
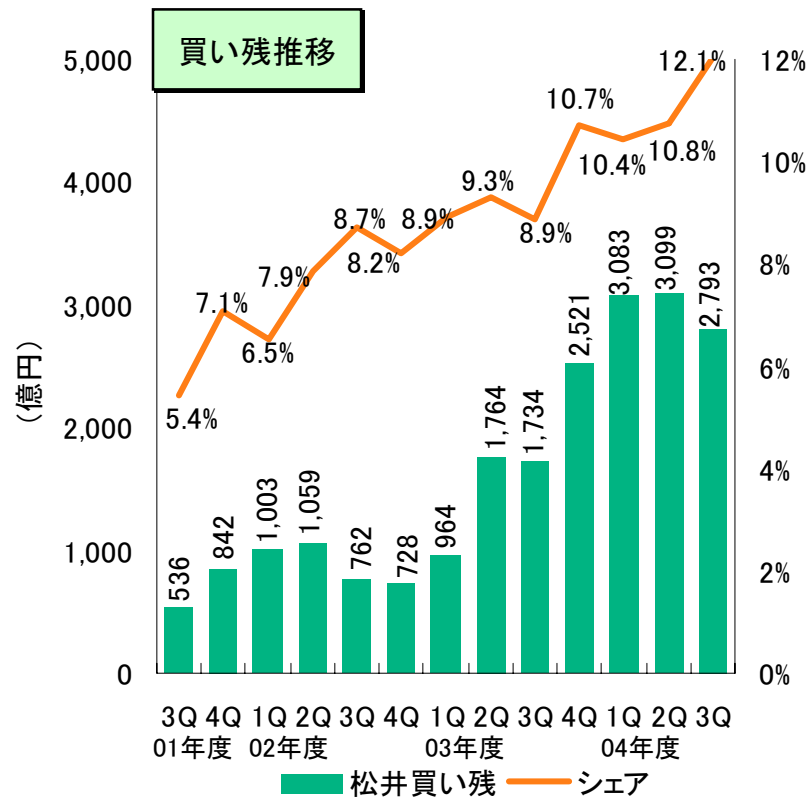
# 松井証券の実績Ⅱ（信用取引残高の推移）

松井証券の信用取引買い残高は2,793億円、売り残高は386億円（04年12月末）

～松井証券の信用取引買い残高シェアは12.1%（04年12月末）～

- ◆ 松井証券買い残高<sup>1</sup>
- ◆ 三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア

- ◆ 松井証券売り残高<sup>1</sup>
- ◆ 三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア





# 今後の展開

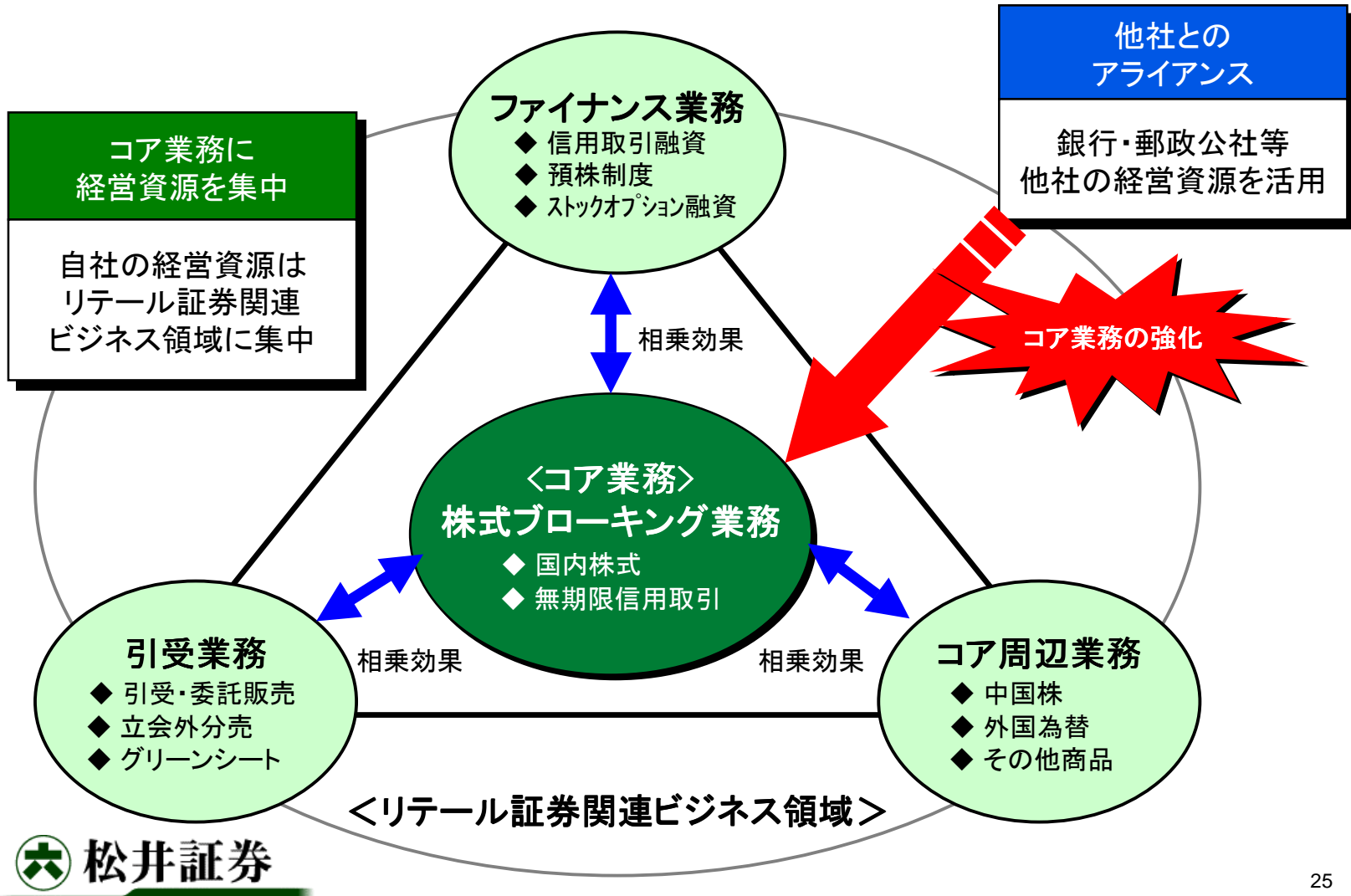
---

セクション 3

# 今後の展開:コア業務への経営資源の集中

株式ブローキング業務に徹し、むやみな多角化は行わない⇒本業重視

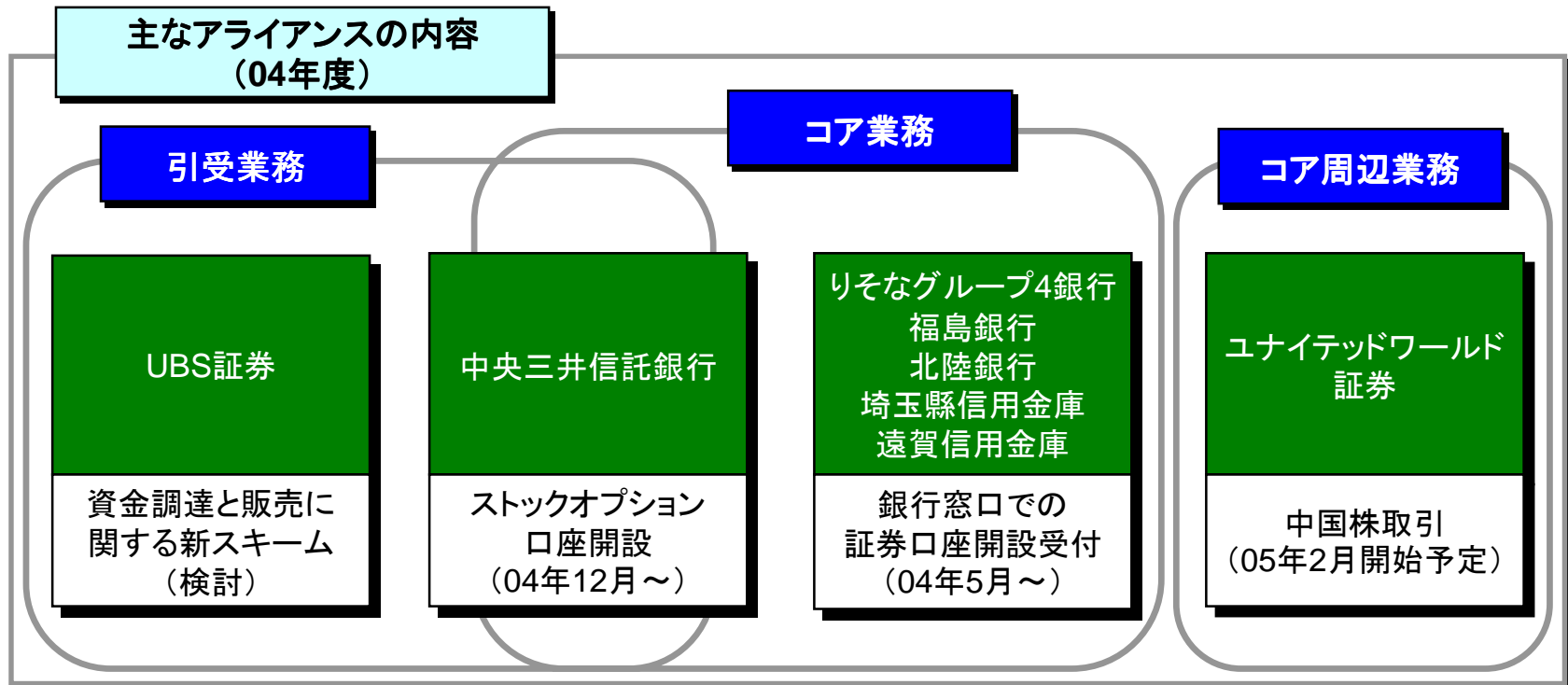
～他社とのアライアンスにより、他社の経営資源を活用した「本業強化策」は継続して行う～



# 他社とのアライアンスの拡充

他社の経営資源を活用し、コア業務(株式ブローキング業務)の強化を図る

～コア業務の強化、またはコア業務との相乗効果の期待できる提携等を積極的に行う～



コア業務(株式ブローキング業務)を強化

# 銀行とのアライアンス(口座開設受付に関する業務提携)

## 銀行窓口での証券口座開設受付に関する業務提携を展開

～郵政公社での“株券ゆうパック”に続き、銀行の店舗網を活用したアライアンスを展開～

### ◆提携の基本スキーム

提携銀行は支店窓口で当社の口座開設書類の受付を行う

当社はその対価として以下の手数料を支払う

- ①口座開設時: 1口座あたり3,000円
- ②株式売買時: 1日あたり1,000円  
(取引金額・取引回数にかかわらず1日定額)

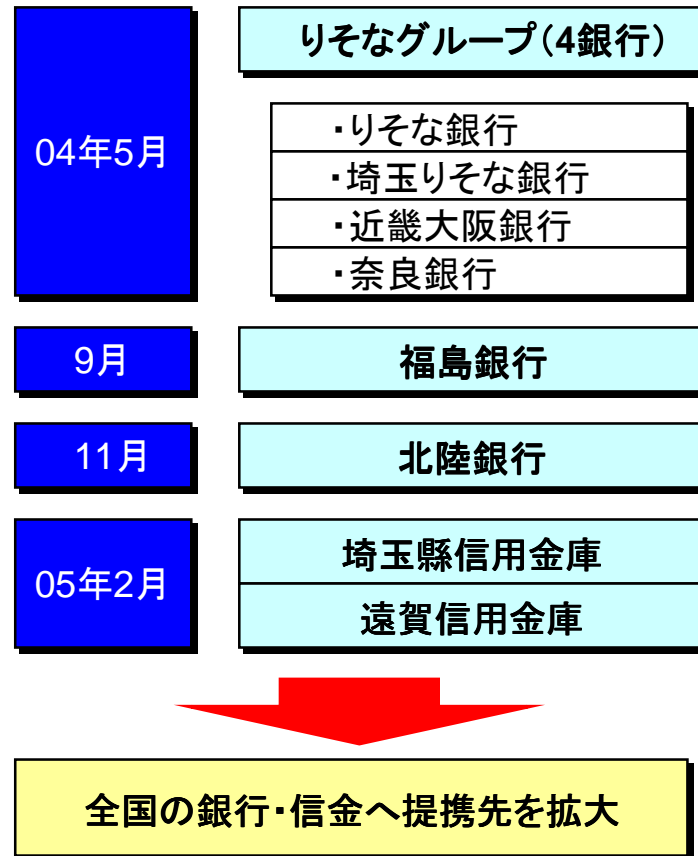
### ◆提携・スキームのメリット

銀行の店舗網・顧客基盤を活用し、オンライン証券でも口座申込が有人で可能

銀行・証券双方にとって低コストで開始できる  
→ビジネスの拡張性がある(地銀等への展開)

「銀行」と提携を組むことによる「当社知名度」・「ブランド力」の向上

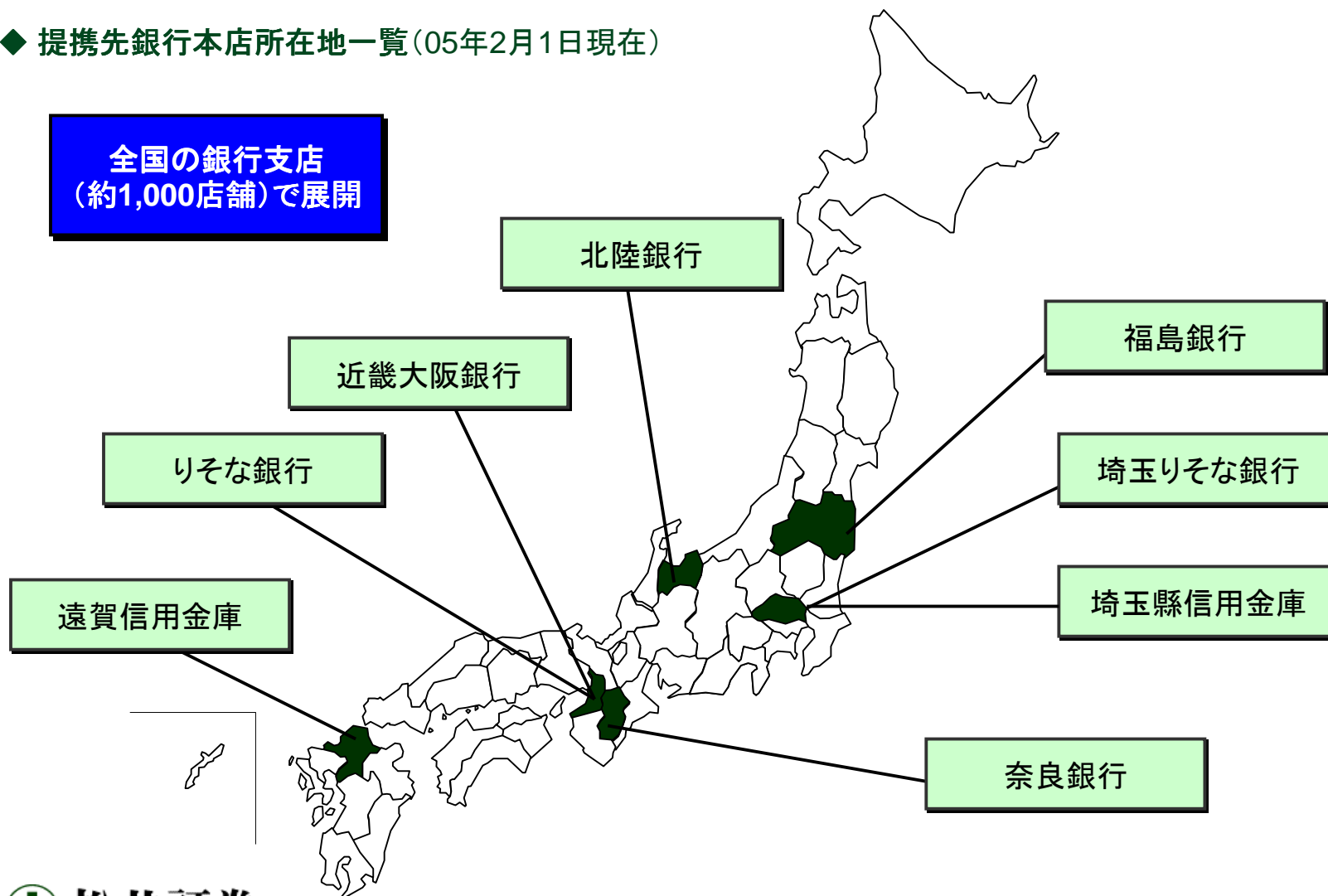
### ◆提携の実績(04年度)



# 銀行とのアライアンスの全国展開

りそなグループ4銀行との提携を皮切りに、全国の銀行へと提携先を拡大

◆ 提携先銀行本店所在地一覧(05年2月1日現在)



# 中央三井信託銀行とのアライアンス

## 中央三井信託銀行とストックオプション口座開設に関して業務提携(04年12月)

～中央三井信託銀行の顧客基盤を活かし、ニューリッチ層の獲得を図る～

### ◆提携の概要

中央三井信託銀行は、顧客企業が希望した場合、ストックオプション指定証券会社として松井証券を紹介

松井証券を指定証券会社とした企業のストックオプション権利行使者が、ストックオプション口座<sup>1</sup>を松井証券に開設した場合、松井証券は中央三井信託銀行に所定の手数料を支払う

### ◆提携のメリット

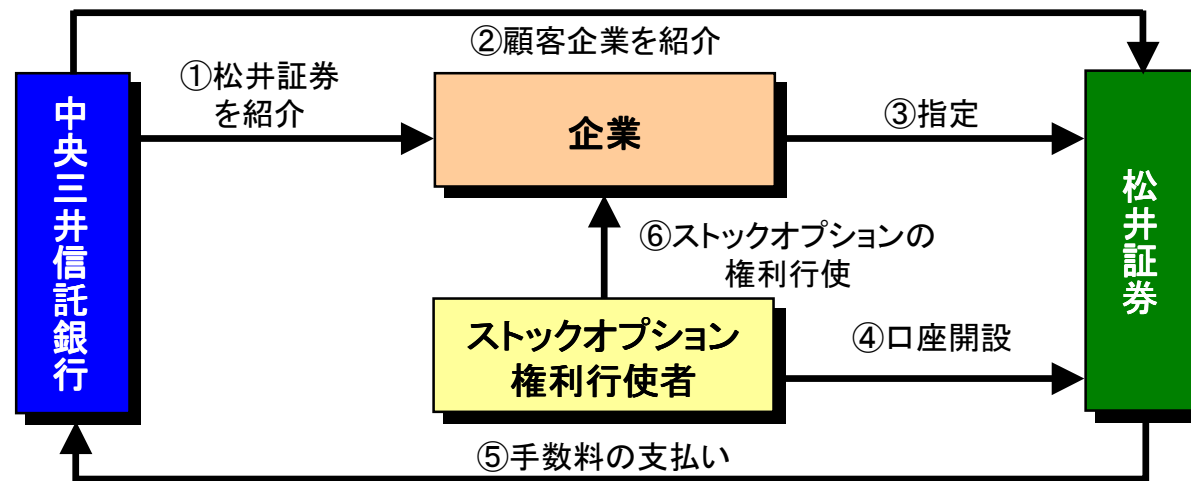
中央三井信託銀行の顧客基盤を活かした個人顧客の新規開拓が可能

### ◆当社の優位性

#### ストックオプション融資サービス

ストックオプションの権利行使時に必要な資金を権利行使者に融資するサービスを行い、他社との差別化を図る

### ◆概念図



# ユナイテッドワールド証券とのアライアンス

「ネット中国株」(中国株のインターネット取引)を開始予定(05年2月)

～日本株同様に、リアルタイムで、中国株の本格的インターネット取引が可能に～

## ◆ ユナイテッドワールド証券との提携内容

香港市場と直接システム接続している、ユナイテッドワールド証券のシステムを利用し、香港市場へ注文を取り次ぐ

## ◆ ユナイテッドワールド証券について

中国・香港株専門のオンライン証券会社

2002年7月に沖縄県名護市の金融特区にて業務を開始

香港証券取引所正会員である、United World Online Limitedを関連会社に持ち、同社を通じて香港市場のリアルタイム取引が可能

## ◆ 取引ルール概要

取扱銘柄

香港証券取引所上場株式・ETF<sup>1</sup>  
(メインボード・GEM)約1,100銘柄

取引手数料

国内:0.399% (税込)

現地:無料

注文形態

香港取引所取扱の  
全注文方法

決済通貨

香港ドル  
(取引毎の為替手数料はなし)

口座管理料

無料

情報料

無料  
(リアルタイム株価情報含む)

# 各種実績

---

セクション4

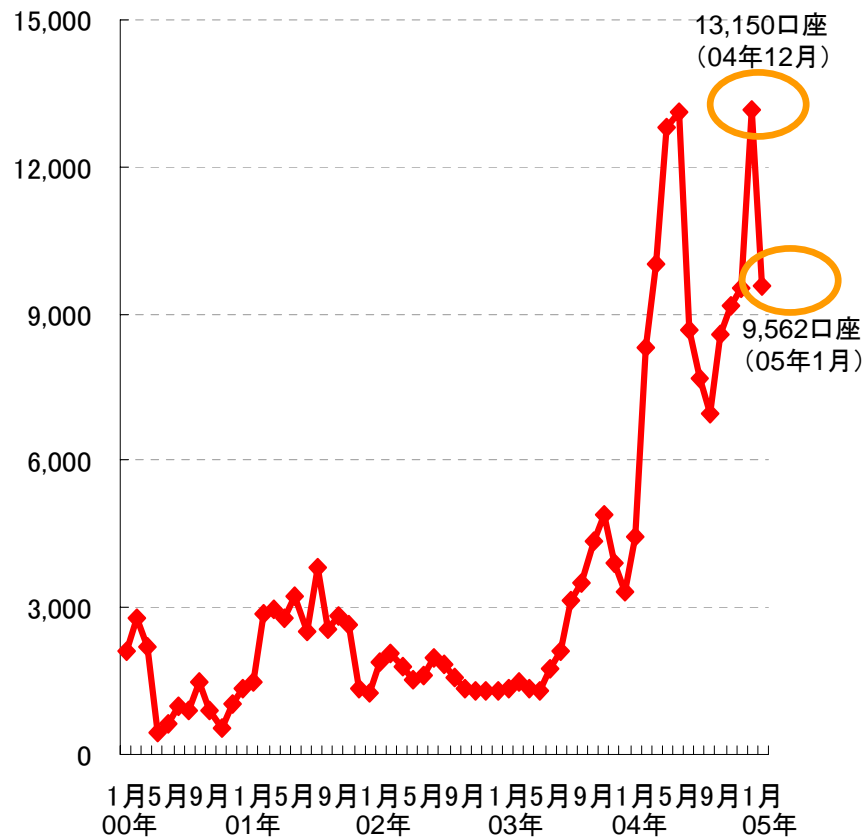


# 月間口座増加数の実績

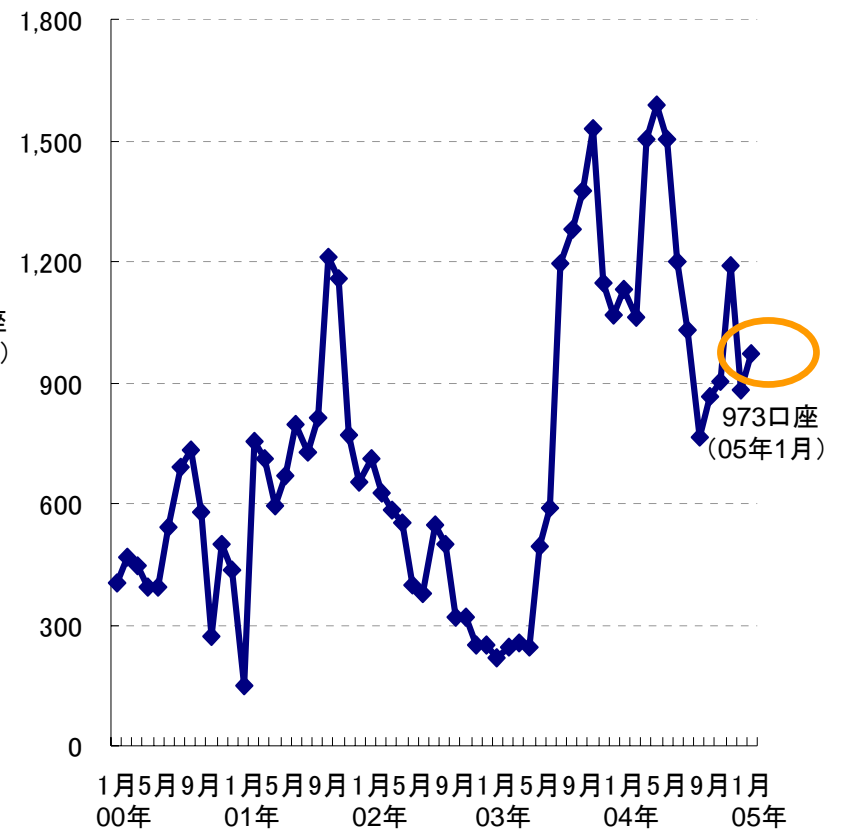
04年12月の月間口座増加数13,150口座で、04年5月を超え過去最高となる

～05年1月の月間口座増加数は9,562口座、信用取引口座増加数は973口座～

## ◆ 松井証券の月間口座増加数



## ◆ 松井証券の月間信用取引口座増加数

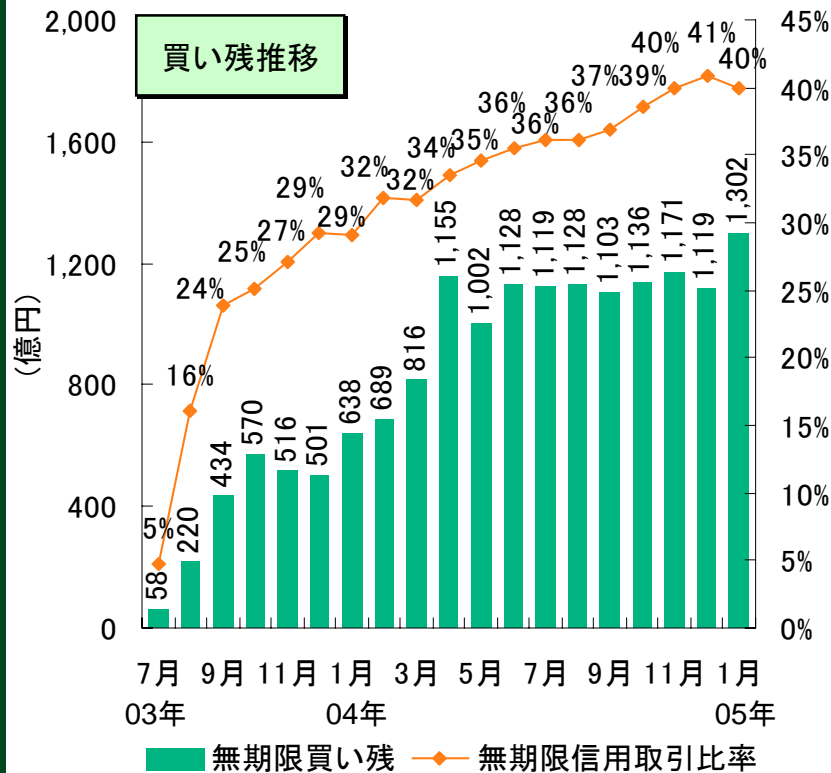


# 無期限信用取引業務の実績

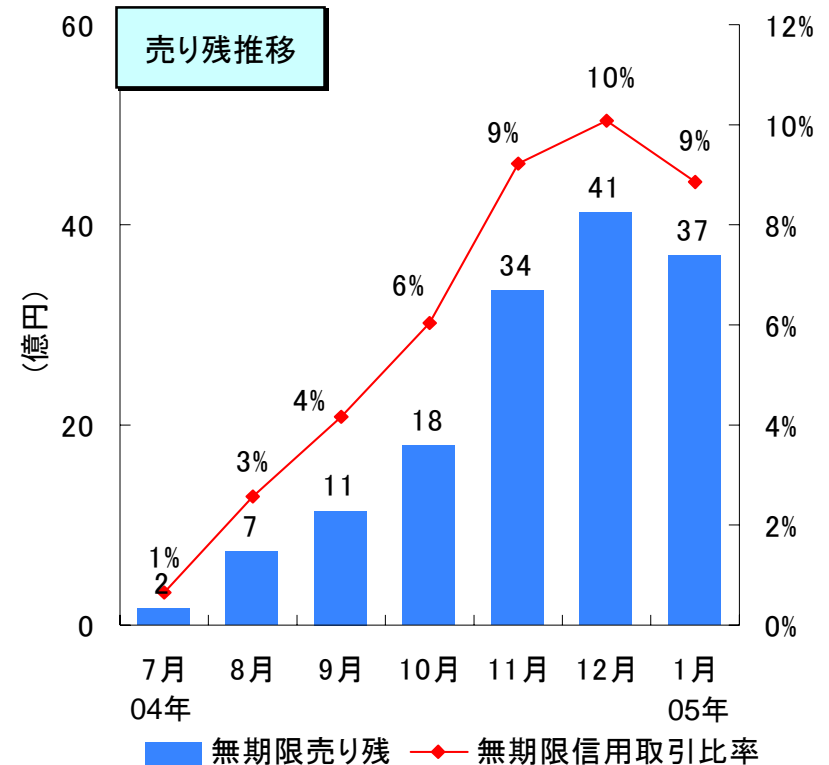
信用買い残高における、無期限信用取引比率は40% (05年1月末)

～1月末の無期限信用取引買い残高は1,302億円で、過去最高となる～

- ◆ 松井証券の無期限信用取引買い残高<sup>1</sup>
- ◆ 松井証券全信用取引買い残高に占める無期限信用取引買い残高の比率



- ◆ 松井証券の無期限信用取引売り残高<sup>1</sup>
- ◆ 松井証券全信用取引売り残高に占める無期限信用取引売り残高の比率



# 「配当金パック」サービスの実績

配当金が自動的に入金される「配当金パック」サービスを開始(04年10月)

～サービス開始後3ヶ月で、申込口座数は17,000口座を突破(05年1月末時点)～

## ◆「配当金パック」サービスの概要

松井証券に預かりのある銘柄の配当金が、  
配当支払日に当社の顧客口座に入金される

企業

各企業から配当金が支払われる

松井証券

配当金支払日に  
入金

顧客の松井証券口座

## ◆「配当金パック」サービスのメリット

配当金が自動入金される

配当金の受取りのため、  
郵便局へ出向いたり、  
銀行口座の指定をする必要が無い

配当金がまとめて受け取れる

当社に預かりのある銘柄であれば、  
当社以外で保有している分の配当金も  
まとめて入金される

すぐに再投資が可能

配当金は、配当支払日に  
松井証券の口座に入金され、  
すぐに投資資金として使用可能

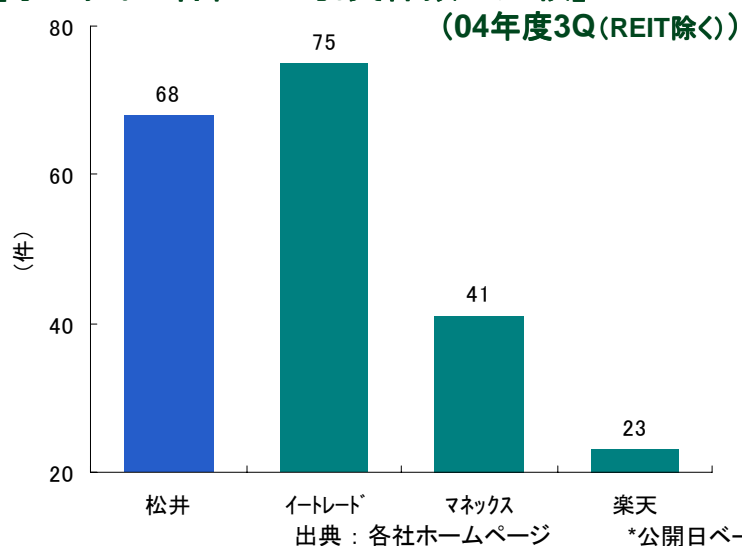
# 引受業務の実績

引受件数91件(引受額64億円)、委託販売件数4件(取扱額4億円) (04年度1Q~3Q)  
立会外分売件数85件(取扱額45億円)

## ◆ 引受(公募・売出し含む)実績 (04年度)

	(件数)	(金額)
第1Q	27件	2,251百万円
第2Q	24件	852百万円
第3Q	40件	2,850百万円
合計	91件	5,953百万円

## 【オンライン各社IPO引受件数の比較】



## ◆ 委託販売実績 (04年度)

	(件数)	(金額)
第1Q	2件	335百万円
第2Q	2件	77百万円
第3Q	0件	0百万円
合計	4件	411百万円

## ◆ 立会外分売実績 (04年度)

	(件数)	(金額)
第1Q	22件	1,763百万円
第2Q	31件	1,772百万円
第3Q	32件	999百万円
合計	85件	4,534百万円

# 【参考】流通市場と発行市場の現状

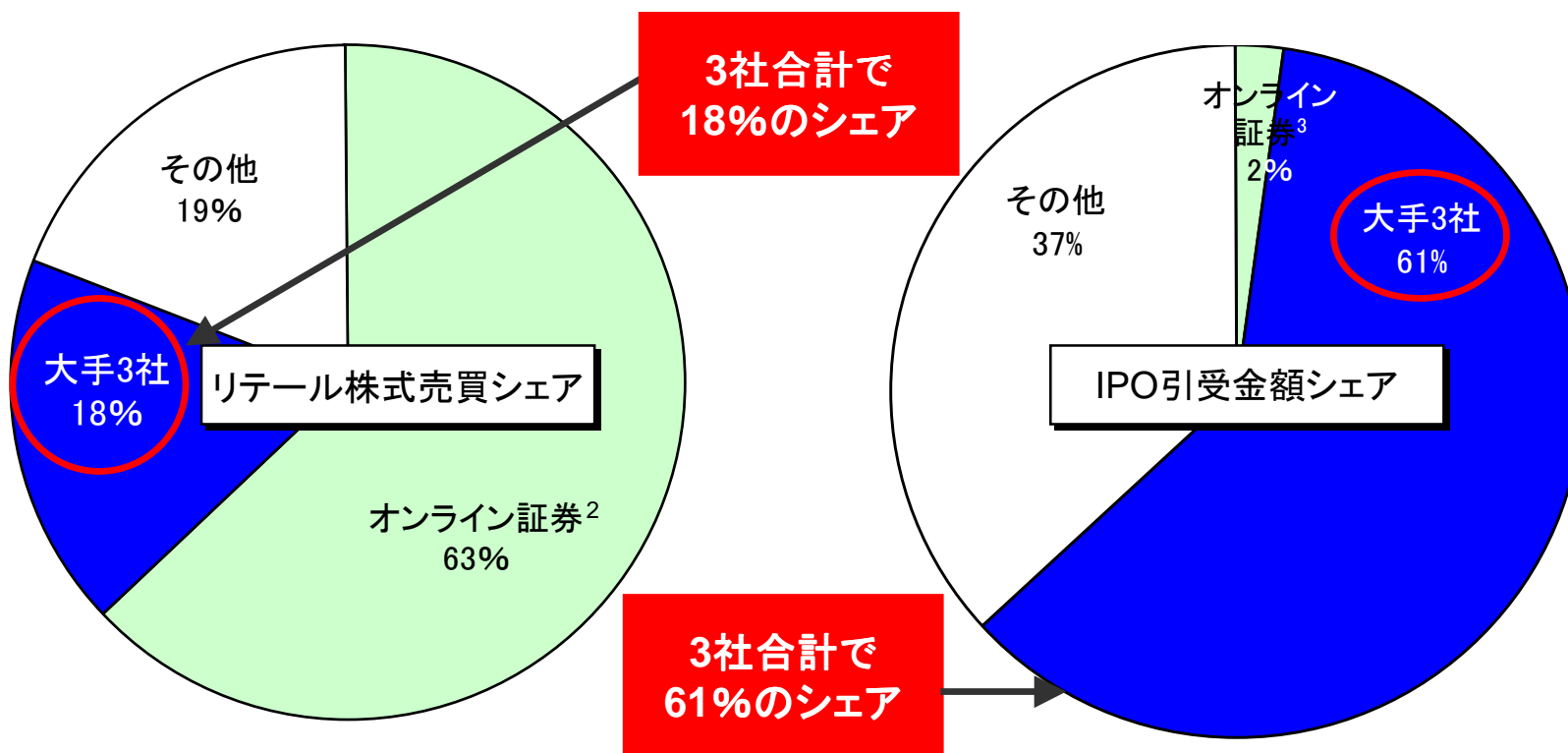
## 発行市場におけるイノベーション ～引受販売手数料“無料化”への取組み～

～競争がなく、一部の証券会社の寡占状態にある発行市場に新たな競争の仕組みを導入～

⇒流通市場に続き、発行市場でもイノベーション(“革命”)を起こしていく

### ◆ 個人株式委託売買代金のシェア(04年度1Q～3Q)

### ◆ IPO引受金額シェア(04年【1～12月】)



# 各種サービスの実績

ストックオプション口座数は2,503口座、預かり資産は92億円（04年12月末）

～NetFxの月間平均売買代金は1,143億円（04年度3Q）～

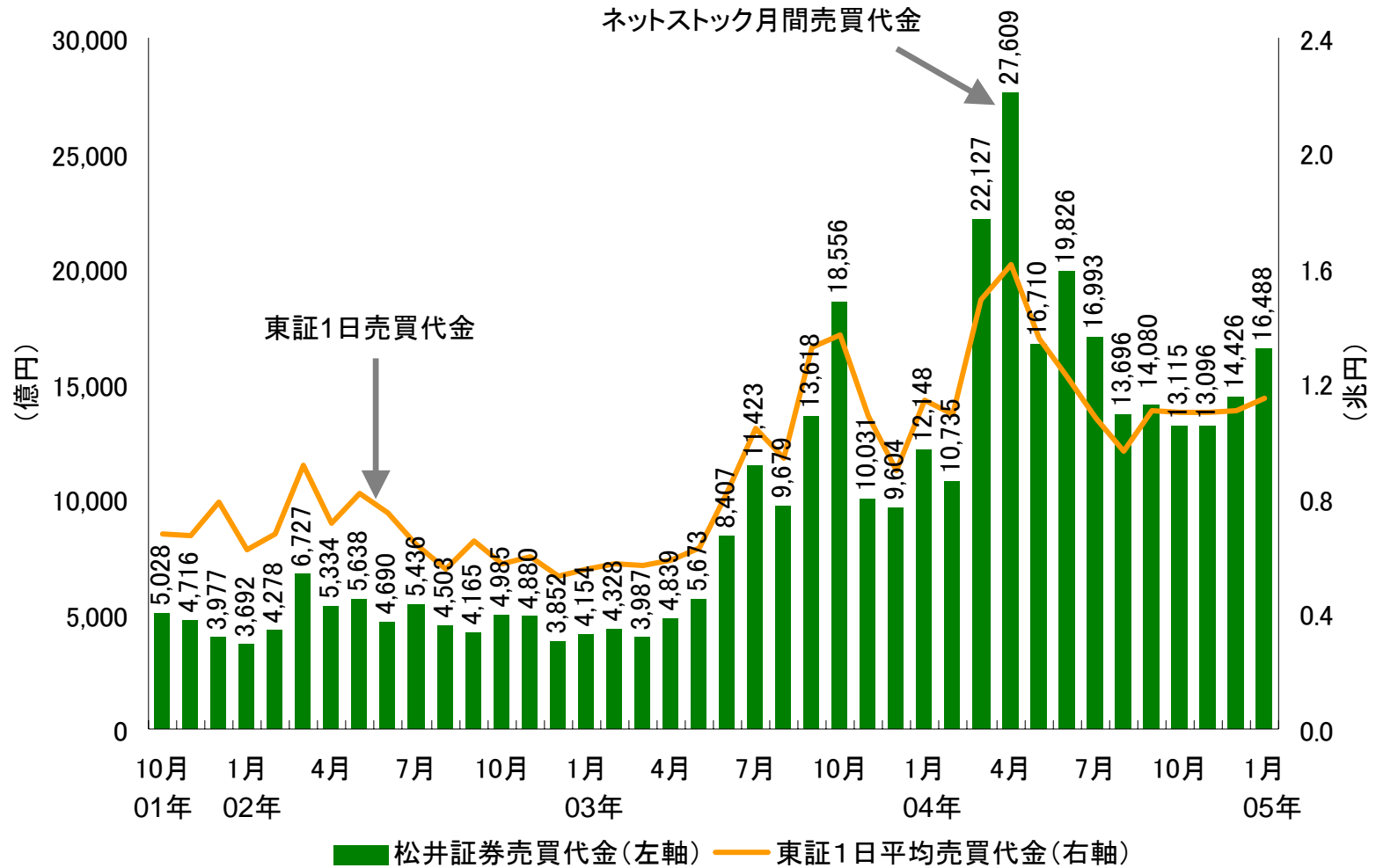
		2003年度				2004年度		
		第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q
ストックオプション 口座 <sup>1</sup>	口座数	-	199口座	568口座	977口座	1,660口座	2,195口座	2,503口座
	預かり資産額	-	565百万円	1,306百万円	4,145百万円	5,653百万円	6,259百万円	9,190百万円
	当社を指定証券会社に 指定した企業数	-	10社	16社	24社	32社	38社	40社
グリーンシート募集	件数	-	5件	7件	6件	1件	6件	6件
	金額	-	62百万円	74百万円	65百万円	54百万円	240百万円	117百万円
預株	口座数	4,310口座	4,967口座	5,367口座	6,028口座	6,936口座	7,857口座	8,853口座
	月末注文残高 (預かり資産に類似)	201億円	218億円	211億円	215億円	227億円	212億円	173億円
NetFx	口座数	2,079口座	3,040口座	3,631口座	4,189口座	5,235口座	7,868口座	10,933口座
	月間平均売買代金	1,060億円	946億円	633億円	1,233億円	932億円	900億円	1,143億円

# 新サービスの一覧

開始月	サービス内容
2003年10月	タンス株券の特定口座入庫対応開始
	無期限信用取引のルール変更(金利2.6%→3.1%)
11月	「株券ゆうパック」サービスの開始
12月	取引履歴のCSVファイル出力機能対応開始
2004年1月	札幌証券取引所銘柄の取扱開始
	ネットリンク入金振込手数料の全面無料化
3月	株式少額投資手数料の無料化
	日計り取引の片道手数料の無料化
4月	信用取引の最低維持率の引上げ(20%→25%)
	JASDAQ制度信用取引・無期限信用取引の開始
5月	りそなグループ4銀行にて証券口座開設申込書受付の開始
7月	無期限信用取引の「売建」の取扱開始
8月	IPO落選お詫びサービスの開始～引受手数料を還元します～
	「旧株券リフレッシュサービス」の開始
	無期限信用取引「売建」の銘柄の大幅拡充
9月	即日預託銘柄の現物買注文再開
	「ネット株取引簡単開始サービス」の開始
10月	福島銀行にて証券口座開設申込書受付の開始
	「配当金パック」サービスの開始
11月	北陸銀行にて証券口座開設申込書受付の開始
	分割新株の売却可能日早期化
	未来証券を代表取扱い会員とするグリーンシート銘柄の取扱開始
12月	中央三井信託銀行とストックオプション口座開設に関して業務提携
2005年2月	遠賀信用金庫にて証券口座開設申込書受付の開始
	埼玉縣信用金庫にて証券口座開設申込書受付の開始
	中国株の取扱開始(予定)

# 売買代金の推移

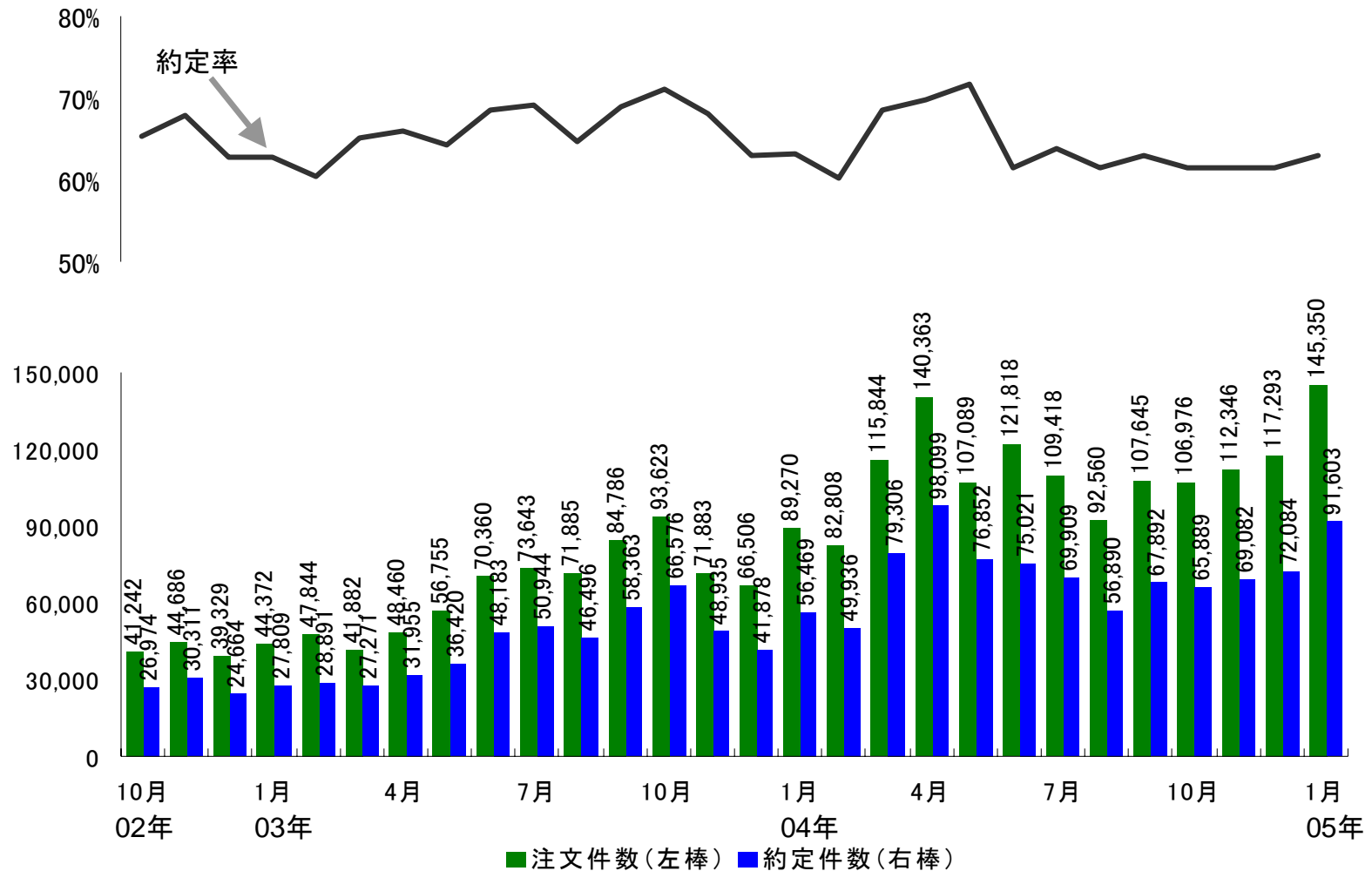
## ◆ ネットストック売買代金(月間)





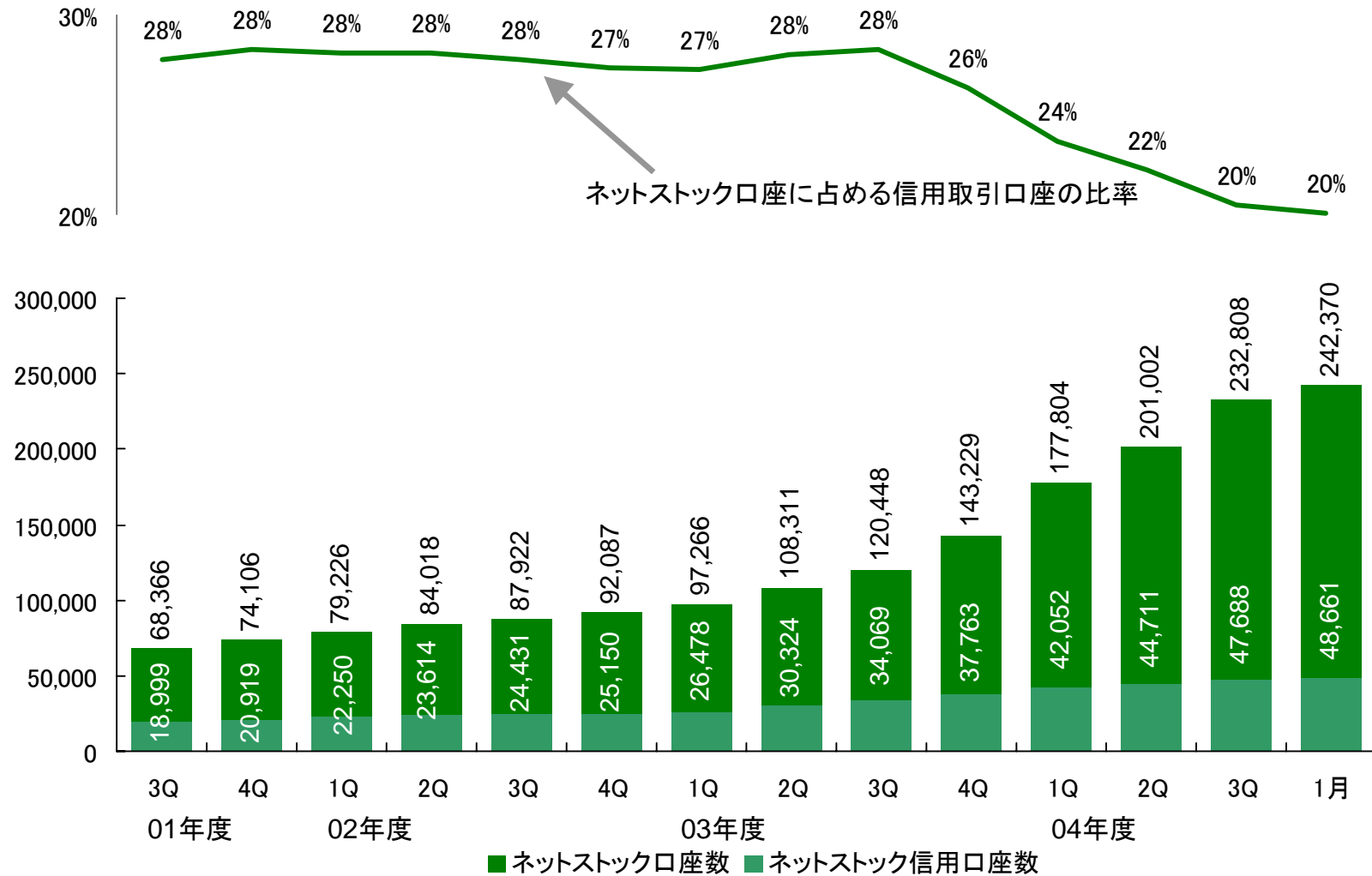
# 注文件数・約定件数の推移

## ◆ 注文件数・約定件数(1日平均)



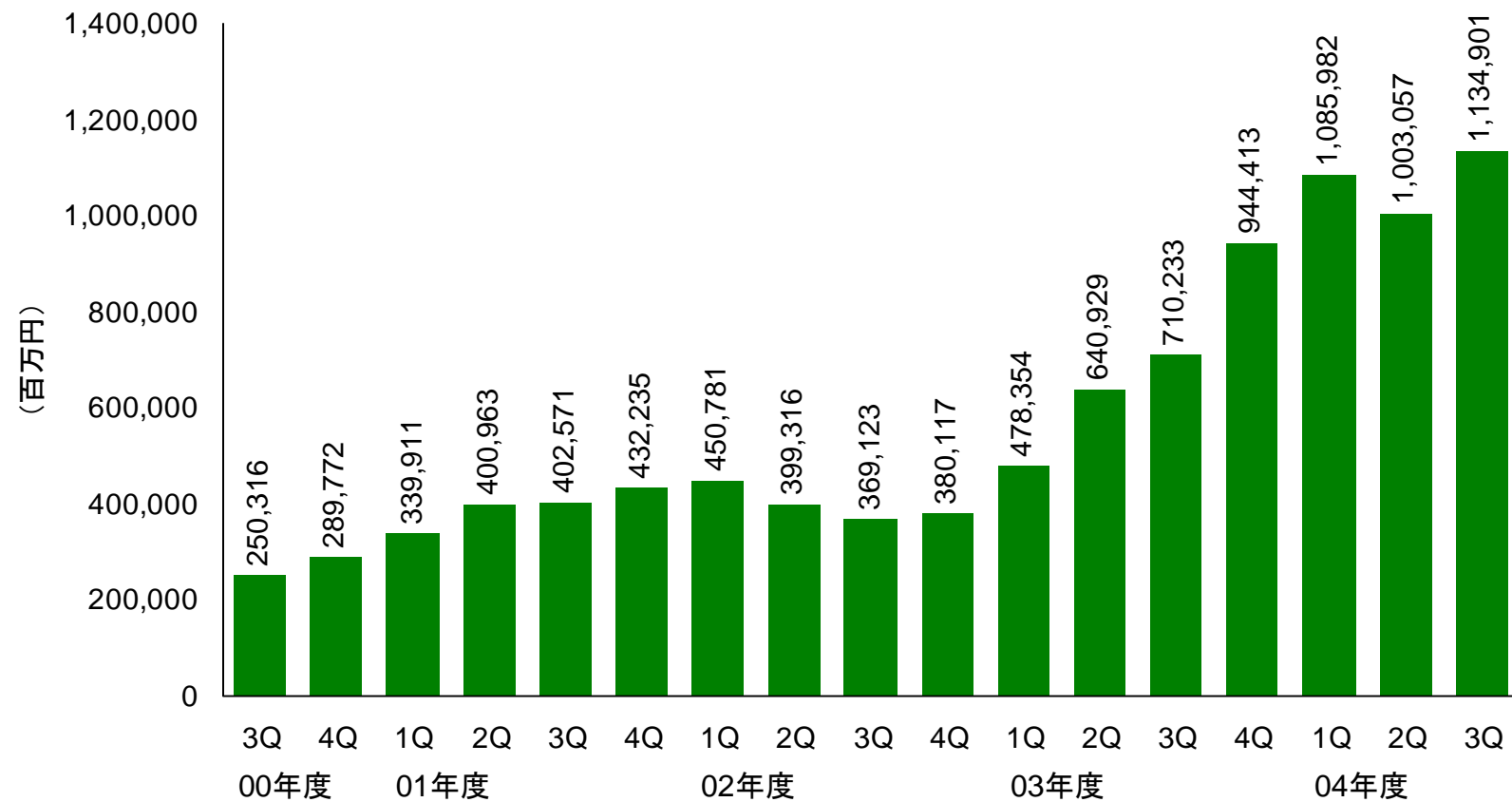
# ネットストック口座数の推移

## ◆ ネットストック口座数(四半期)



# 預かり資産の推移

## ◆ 預かり資産残高(四半期)



# 【参考】オンライン証券各社損益計算書(2005年3月期3Q)

(単位:百万円)

	松井	イトレード	MBH	カブコム
営業収益	26,932	18,583	15,183	8,083
受入手数料	19,636	14,056	12,477	6,344
委託手数料	18,388	12,697	10,734	6,049
引受・売出	243	228	121	-
募集・売出	28	453	187	38
その他の受入手数料	978	679	1,434	257
トレーディング損益	5	343	104	△ 15
金融収益	7,290	4,146	2,483	1,752
金融費用	1,763	1,524	833	951
純営業収益	25,168	17,058	14,349	7,133
販管費	8,795	9,934	8,419	3,173
取引関係費	2,450	2,465	2,616	1,578
人件費	1,410	1,143	1,050	418
不動産関係費	203	1,725	1,080	580
事務費	3,924	2,950	2,511	298
減価償却費	548	629	83	203
その他	260	1,023	1,079	96
営業利益	16,374	7,125	5,929	3,960
経常利益	16,353	7,267	5,858	3,945
当期純利益	9,212	3,829	5,295	2,843
金融収支	5,527	2,621	1,650	801

# 【参考】オンライン証券各社貸借対照表(2005年3月期3Q)

(単位:百万円)

	松井	イトレド	MBH	カブコム
流動資産	556,195	359,684	183,357	141,548
現金・預金	36,652	26,260	27,665	10,519
預託金	216,003	130,607	51,483	55,707
信用取引貸付金	279,325	171,308	89,272	66,127
その他	24,215	31,510	14,937	9,196
固定資産	5,628	5,757	1,480	1,700
有形固定資産	1,177	477	114	96
無形固定資産	1,919	2,213	216	628
投資その他の資産	2,532	3,067	1,149	976
繰延資産	-	91	-	-
資産合計	561,823	365,532	184,837	143,248
流動負債	425,687	305,290	155,770	133,913
信用取引借入金	31,436	110,251	32,856	54,164
信用取引貸証券受入金	38,563	39,378	16,092	13,184
有価証券担保借入金	37,774	2,300	5,871	-
預り金	108,582	14,745	24,903	16,307
受入保証金	127,352	134,749	51,411	48,451
借入金等	76,379	40	22,000	1,000
その他	5,600	3,827	2,637	807
固定負債	88,249	10,465	116	-
特別法上の準備金	1,698	1,919	917	498
負債合計	515,634	317,674	156,804	134,411
資本合計	46,189	47,858	28,014	8,837

# 【参考】証券会社決算ランキング (2005年3月期3Q)

## ◆営業収益

(単位:百万円)

1	野村	852,948
2	大和	361,248
3	日興	253,086
4	三菱	107,159
5	新光	83,455
6	UFJつばさ	61,432
7	岡三	43,258
8	SMBCフレンド	38,614
9	みずほインバ	33,326
10	東海東京	29,495
11	<b>松井</b>	<b>26,932</b>
12	イトレード	18,582
13	いちよし	15,994
14	MBH	15,183
15	コスモ	14,934
16	丸三	14,321
17	東洋	13,261
18	水戸	11,322
19	ワールド日栄	8,221
20	カブドットコム	8,083
21	エイチエス	7,065
22	高木	6,554
23	丸八	4,938
24	光世	660

## ◆経常利益

(単位:百万円)

1	野村	137,865
2	大和	75,282
3	日興	58,889
4	<b>松井</b>	<b>16,353</b>
5	三菱	15,175
6	SMBCフレンド	13,560
7	UFJつばさ	10,455
8	新光	10,437
9	岡三	7,869
10	イトレード	7,266
11	MBH	5,858
12	みずほインバ	5,517
13	東海東京	4,201
14	いちよし	4,047
15	カブドットコム	3,945
16	丸三	3,237
17	水戸	3,156
18	東洋	3,155
19	ワールド日栄	2,371
20	エイチエス	2,186
21	コスモ	1,453
22	高木	1,363
23	丸八	648
24	光世	△ 170

## ◆営業収益経常利益率

1	<b>松井</b>	<b>61%</b>
2	カブドットコム	49%
3	イトレード	39%
4	MBH	39%
5	SMBCフレンド	35%
6	エイチエス	31%
7	ワールド日栄	29%
8	水戸	28%
9	いちよし	25%
10	東洋	24%
11	日興	23%
12	丸三	23%
13	大和	21%
14	高木	21%
15	岡三	18%
16	UFJつばさ	17%
17	みずほインバ	17%
18	野村	16%
19	東海東京	14%
20	三菱	14%
21	丸八	13%
22	新光	13%
23	コスモ	10%
24	光世	△ 26%



⑥ 松井証券

ネットストック

東証1部：8628

<http://www.matsui.co.jp>